

キビタキ



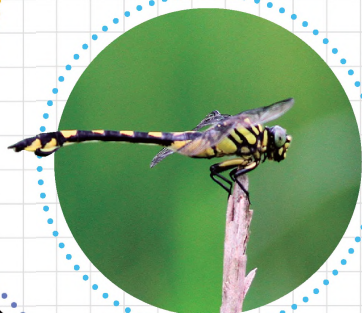
マガタマハンミョウ



クロスキバホウシャウ



ウチワヤンマ



ニホンカナヘビ



杉沢の森 ハンドブック — 動物編 —

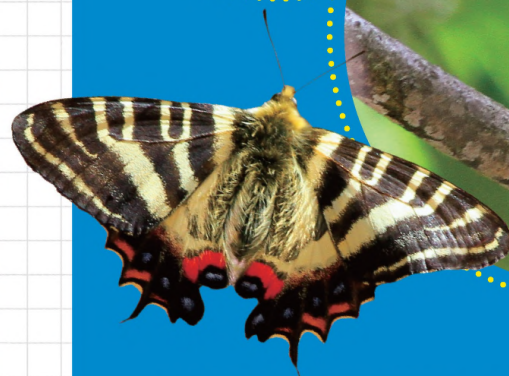
新潟県長岡地域振興局 農林振興部 林業振興課

生き物を探してみよう！

# 杉沢の森

# ハンドブック

動物編



新潟県長岡地域振興局 農林振興部 林業振興課

## ようこそ！ 杉沢の森へ

「杉沢の森」は豊かな自然環境<sup>かんきよう</sup>とのふれあい体験の場として整備された約 20 ヘクタールの面積を有する県民の森です。このガイドブック動物編では植物編<sup>へん</sup>に続く第 2 弾<sup>だん</sup>として杉沢の森で出会える動物（野鳥・昆虫<sup>こん</sup>・両生類・は虫類<sup>けいさい</sup>）約 230 種を掲載しました。

「杉沢の森」の多様な環境の中で多くの動植物が生息し、食物連鎖<sup>れんさ</sup>が成り立っています。ぜひこのガイドブックを持って生き物探しの旅に出かけてみてください。毎回新たな発見にドキドキすることでしょう。でもなかには毒<sup>どく</sup>があって危険<sup>きけん</sup>な生き物もいるのでくれぐれも気をつけてね！





# 目 次

|            |    |
|------------|----|
| はじめに ..... | 01 |
|------------|----|

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 写真で見る生き物の生息環境 <small>かんきよう</small> ..... | 03 |
|------------------------------------------|----|

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 「杉沢の森」散策マップ <small>さんさく</small> ..... | 06 |
|---------------------------------------|----|

|              |    |
|--------------|----|
| この本の見方 ..... | 08 |
|--------------|----|

|           |    |
|-----------|----|
| 野 鳥 ..... | 09 |
|-----------|----|

|              |    |
|--------------|----|
| 昆虫 トンボ ..... | 39 |
|--------------|----|

|                |    |
|----------------|----|
| 昆虫 チョウ・ガ ..... | 59 |
|----------------|----|

|              |    |
|--------------|----|
| 昆虫 その他 ..... | 95 |
|--------------|----|

|               |     |
|---------------|-----|
| 両生類・は虫類 ..... | 127 |
|---------------|-----|

|                                        |     |
|----------------------------------------|-----|
| 掲載種一覧 (五十音順) <small>けいさい</small> ..... | 135 |
|----------------------------------------|-----|

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 参考文献 <small>ぶんげん</small> ..... | 144 |
|--------------------------------|-----|

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 施設案内 <small>しせつ</small> ..... | 146 |
|-------------------------------|-----|



### 【沢田のビオトープ】

春先はミズバショウが咲く。ムジナ潟から休耕田にかけてはトンボの楽園。



### 【ムジナ潟】

水鳥が渡りの途中で羽を休める地域の水源。





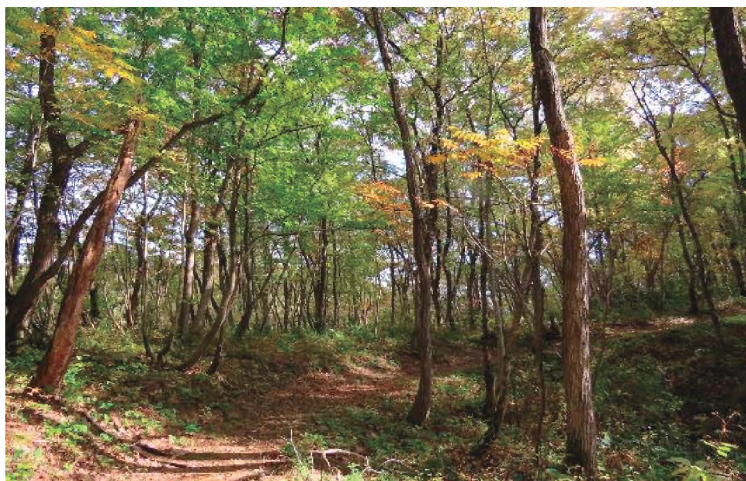
### 【作業棟】

各種イベントの核となる<sup>とう</sup>基地。灯火にクワガタなどの<sup>こうちゆう</sup>甲虫やガが集まる。



### 【イベント広場周辺】

アカマツ林にはハルゼミが鳴き、草地はチョウやバッタのすみか。



### 【コナラ林】

歩道脇<sup>わき</sup>のコナラの樹液<sup>じゆえき</sup>にカナブンなどの甲虫<sup>こうちゆう</sup>やルリタテハなどのチョウが集う。



### 【東屋①<sup>あずまや</sup>周辺の花畑】

秋深い11月でもシジミチョウなどのチョウやアブなどが花に集まる。



# 「杉沢の森」散策マップ

の  
代表的な生き物が観察しやすい場所を載せています。他にも見られるので、探してみてください。

【森林内】野鳥全般(キツツキ科、シジュウカラ科、ウグイス科、メジロ科、キバシリ科、ヒタキ科、アトリ科)

【森林上空】タカ科

オオヒカゲ、  
ウグイス

ブナ王

ニューナイスズメ、  
アオゲラ

アカゲラ、  
コゲラ

見晴らし東屋

アカゲラ

キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、  
キバシリ、メボソムシクイ、ルリ  
タテハ、スズメバチ、ヤマキマダ  
ラヒカゲ、オオヒカゲ

【ムジナ淵】オオヤマトンボ、  
ギンヤンマ、オシドリ、カル  
ガモ、カワセミ、カイツブリ、  
モリアオガエル、アカガエル

ムジナ淵



散策路

木道

車道(砂利舗装)

車道(アスファルト舗装)

東屋

誘導板

スギ林

広葉樹林

アジサイ園

ツバキ林

ミズバショウ群落

# 散策時間 (往復)

|            |      |
|------------|------|
| ⇨ 見晴らし東屋   | 約20分 |
| ⇨ プナ王      | 約30分 |
| ⇨ 東屋①      | 約20分 |
| ⇨ 沢田のビオトープ | 約15分 |



0 50 100 200 m



## この本の見方

### 種類

おおまかな種類ごとに色分けしてあります。

野鳥

トンボ

チョウ・ガ

その他昆虫

両生類・は虫類

### 注意

このマークが付いている生き物は、毒を持っているので気をつける必要があります。

### 目、科名

目科名を記載しています。

### 大きさや重さ

## 152 チャドクガ △注意

開張♂25 ♀28～35mm

## チョウ目ドクガ科

7月下～8月上



2020年7月20日

作業棟窓ガラスに付着している個体を撮影した。幼虫はツバキ、サザンカなどを食べる。幼虫・成虫とも毒針を持ち人に危害を加えることが多いドクガ。

### 写真撮影年月日

全て「杉沢の森」で、令和元～2年度に撮影したものです。

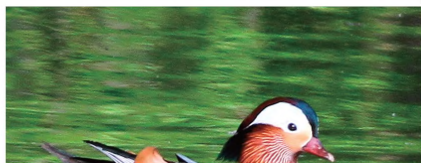
### 観察時期

過去2年の調査データから見られる時期を記載しています。

## 3 オシドリ

SAVE 準絶滅危惧種

全長41～47cm (体重440～650g)

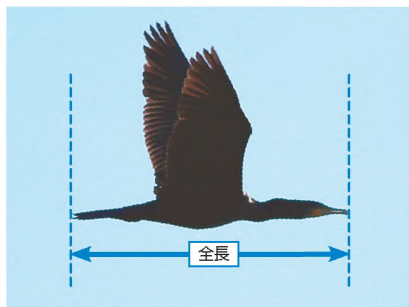


### 準絶滅危惧種

このマークが付いている生き物は、「レッドデータブックにいがた」に記載されている生き物です。絶滅のおそれの度合いに応じて「絶滅危惧Ⅰ類」「絶滅危惧Ⅱ類」「準絶滅危惧種」とランク分けされていますが、「杉沢の森」では「準絶滅危惧種」にあたる野生動物が複数観察されます。

# 野鳥





カワウ



サシバ

### 全長・体重及び翼開長

各数字は新潟県愛鳥センター資料から引用。掲載順<sup>けいさいじゆん</sup>については『フィールド図鑑<sup>ずかん</sup>日本の野鳥(株式会社 文一総合出版)』を準用し、一部比較しやすいように順番を入れ替えた。

### 用語解説

**留<sup>りゅう</sup>鳥<sup>ちゅう</sup>**：一年中杉沢の森で見られる鳥

**夏<sup>げ</sup>鳥<sup>りゅう</sup>**：春に南から杉沢の森に渡<sup>わた</sup>ってきて繁殖<sup>はんしよく</sup>し秋に南に帰る鳥

**冬<sup>ふゆ</sup>鳥<sup>ちゅう</sup>**：秋に北から渡<sup>わた</sup>ってきて春に北へ帰る鳥

**漂<sup>ひょう</sup>鳥<sup>ちゅう</sup>**：季節に応じて生息場所を変える鳥

アカゲラなどは夏に高地へ移動し、カワセミなどは雪が降ると雪のないところへ移動する

**旅<sup>たび</sup>鳥<sup>どり</sup>**：春と秋の渡りの時期に杉沢の森に一時立ち寄る鳥

さえずり：繁殖に関係する鳴き声

地鳴き：さえずり以外の鳴き声で「チッ」とか「チャッ」などの鳴き声

### 杉沢の森の野鳥相について

今回出現したが掲載できなかった種はヤマドリ、アオバト、ホトトギス、ツツドリ、カッコウ、イヌワシ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ツミ、ミサゴ、ハヤブサ、サンコウチョウ、ヤブサメ、オオムシクイ、エゾムシクイ、キクイタダキ、ミソサザイ、コルリ、ベニマシコ(以上19種)で合計75種となった。また冬期閉鎖中ではあるがR2.12月にコガラを観察した。キバシリが令和元年度に繁殖<sup>はんしよく</sup>し、スズメとニューナイスズメが同時に繁殖するなど野鳥相は豊かである。



## 1 カワセミ

全長17cm (体重30g)

## ブッポウソウ目カワセミ科

4月中～10月中



♂ (♀は下クチバシが赤い) 2019年7月6日

ムジナ淵や水路、ため池等で  
見られる漂鳥<sup>ひょうちょう</sup>。冬期は雪のない  
ところへ移動。ダイビング  
して小魚<sup>きんぎょ</sup>等を捕る。地鳴きは  
金属<sup>きんぞく</sup>的な「チッ、チー」。こ  
の<sup>そんざい</sup>声で存在に気づくことが  
多い。



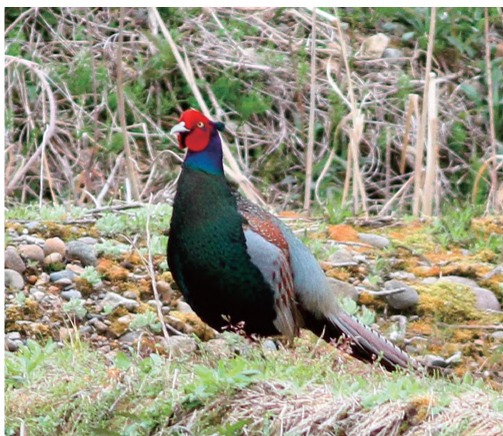
幼鳥に給餌 2020年6月23日

## 2 キジ

全長♂80 ♀60cm (体重♂850～1100 ♀600～970g)

## キジ目キジ科

4月中



2020年4月16日

田んぼ周辺で見られる留鳥<sup>りゅうちょう</sup>。  
杉沢の森で見られることは少  
ないかも。♂は繁殖期<sup>はんしよく</sup>に翼<sup>つばさ</sup>  
を激しく羽ばたかせ「ドドド」  
と音を出す。

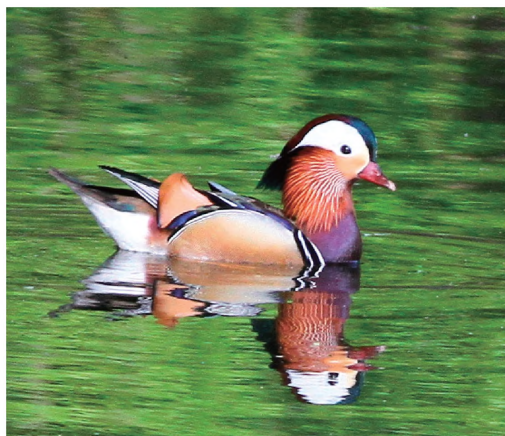
### 3 オシドリ

SAVE 準絶滅危惧種

カモ目カモ科

全長41～47cm (体重440～650g)

5月上～5月下



♂ 2020年5月23日

ムジナ潟で5月の移動時期に見られる旅鳥<sup>たびどり</sup>。主にコナラなどのドングリ類や草などを食べるが、カエル等の小動物を食べることもある。



♀手前 2020年5月18日

### 4 カルガモ

カモ目カモ科

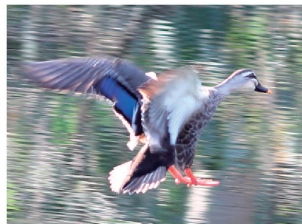
全長54～61cm (体重750～1350g)

4月上～6月中



手前が♀奥が♂と思われる 2019年4月3日

ムジナ潟で秋から春にかけて見られる漂鳥<sup>ひょうちよう</sup>。落穂<sup>おちぼ</sup>や草を食べる。♂♀ほぼ同色だが胸体<sup>どうたい</sup>後ろ(下尾筒)の色の濃さ(♂濃い♀薄い)などで見分ける。



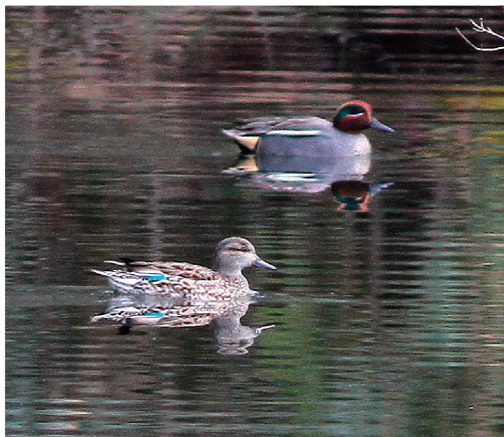
飛翔 2019年4月17日

## 5 コガモ

全長38cm (体重320~330g)

カモ目カモ科

4月上



手前♀奥♂ 2020年3月30日

冬鳥としてムジナ渦<sup>およ</sup>及び田んぼやため池に飛来。日本で最小のカモ。よく通る声で「ピリッ、ピリッ」と2音で鳴く。

## 6 カイツブリ

全長25~29cm (体重130~236g)

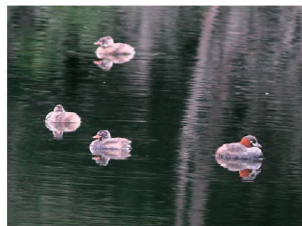
カイツブリ目カイツブリ科

4月中~10月上



親子 2020年8月16日

ムジナ渦で見られる<sup>ひょうちょう</sup>漂鳥。  
2020年8月繁殖<sup>はんしよく</sup>。潜水して魚類等を捕える。水草を集めて水に浮かぶ巣を作る。「キリリリ…」と大きな声で鳴く。



1ヶ月後 2020年9月16日



## 7 キジバト

全長30～32cm (体重200～270g)

## ハト目ハト科

4月中～11月中



2019年4月17日

田んぼや道などの開けたところや林縁で見られる漂鳥。冬は雪のないところへ移動する。主に木や草の実や芽、種子を食べる。体内で雛の餌となるミルク(ピジョンミルク)を作れるため繁殖できる期間は長い。さえずりは「デデー、ポーポ」。

## 8 カワウ

全長80～90cm (体重1400～2400g)

## カツオドリ目ウ科

4月上、9月上、10月上、11月中



2019年9月6日

ムジナ潟に魚を求めて飛来する漂鳥。不定期に飛来。アユなどの魚を食べるので漁業関係者からは嫌われている。川辺の林に集団で繁殖する。

## 9 アオサギ

全長90～98cm (体重1000～2000g)

## ペリカン目サギ科

4月上～6月中、7月下～10月上



2019年4月5日

田んぼ周辺で見られる<sup>りゅうちょう</sup>留鳥。  
大型で<sup>はい</sup>灰色。田んぼに生息する  
カエルなどを食べに来る。

## 10 ダイサギ

全長84～94cm (体重700～1200g)

## ペリカン目サギ科

4月下、7月上、8月中～9月中



2019年7月9日

田んぼ周辺で見られる夏鳥  
(チュウダイサギ) 及び冬鳥 (オ  
オダイサギ)。大型で白色。  
アオサギ同様、田んぼに生息  
するカエルなどを食べに来る。

# 11 ハチクマ

SAVE 準絶滅危惧種

タカ目タカ科

全長57cm (体重♂510~800 ♀625~1050g)

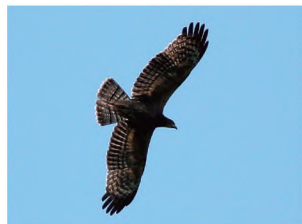
5月中、8月下

翼開長121~135cm



♂成鳥 2020年5月14日

春と秋に上空を通過する旅鳥。羽裏の色は白・茶・黒と変化に富む。幼鳥の翼先は黒く塗りつぶされる。ハチの幼虫や成虫、及び昆虫類やカエル、ヘビなども食べる。



幼鳥 2019年8月26日

# 12 トビ

タカ目タカ科

全長♂51~61 ♀57~66cm (体重630~1150 ♀750~1240g) 4月上~11月下

翼開長157~162cm



2019年9月6日

全域で見られる留鳥。尾羽の形が三味線の「ばち」に似るのが特徴。魚類やカエル、昆虫類などなんでも食べる。鳴声は「ピーーヒョロロロ」などと鳴く。



2020年7月17日



13

サシバ

SAVE

準絶滅危惧種

タカ目タカ科

全長47～51cm (体重380～440g)

4月上～10月上

翼開長105～115cm



2019年5月18日

4月上旬に南方から渡ってきて繁殖する夏鳥。カエルやヘビなどを食べる。繁殖期に「ピックイー」と大きな声でよく鳴く。



田に降りた♀ 2019年4月27日

14

ノスリ

タカ目タカ科

全長51～59cm (体重520～970g)

9月上～10月中

翼開長121～135cm



2020年9月1日

9月上旬頃から見られる冬鳥。電柱や田んぼ及び林縁で見られる。地上のネズミ等を狙う。胸にバンド状に茶色部分がある。「ピーエー」などと鳴く。



2020年9月1日

## 15 コゲラ

全長15cm (体重18~26g)

## キツツキ目キツツキ科

4月上~5月中、11月上~11月下



2019年4月7日

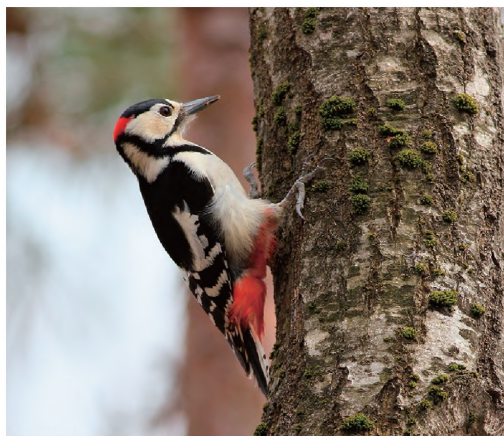
全域で見られる留鳥。木の幹を垂直に登りながら昆虫、クモ類や木の果実などを食べる。日本最小のキツツキで大きさはスズメぐらい。地鳴きは「ギイーッ」と鳴くが、木の幹をくちばしでたたき「タラララ…(ドラミング=さえずりの代わり)」という音も出す。

## 16 アカゲラ

全長24cm (体重62~77g)

## キツツキ目キツツキ科

4月上~4月中、10月上~10月下



2019年4月14日

コナラ林やアカマツ林で見られる漂鳥。夏期は見られなくなる。木の幹を上りながら昆虫類やその幼虫、果実などを食べる。地鳴きは「キョッ」と一声ずつだが、警戒時は連続する。木の幹をくちばしでたたき「タラララ…(ドラミング=さえずりの代わり)」という音も出す。

## 17 アオゲラ

全長29cm (体重103~138g)

## キツキ目キツキ科

4月上~6月上、10月下~11月中



2019年10月21日

コナラ林やアカマツ林で見られる漂鳥<sup>ひょうちよう</sup>。夏期は見られなくなる。昆虫類<sup>こんちゆう</sup>の幼虫やアリなどを食べ、冬は木の実・果実なども食べる。地鳴きはアカゲラに似た「キョッ」であるが、春先に「ピーーピーーピーー」とさえずる。木の幹<sup>みき</sup>をくちばしで連続的にたたくドラミング(=さえずりの代わり)もする。

## 18 サンショウクイ

全長20cm (体重20~22g)

## スズメ目サンショウクイ科

4月下~8月上



2020年5月29日

全域<sup>いっき</sup>に飛来する夏鳥。上空を飛びながら「ヒリリ、ヒリリ」とよく鳴く。名前の由来は“山椒<sup>さんしょう</sup>を食って辛いので「ヒリリ、ヒリリ」と鳴く”とされたことから。



## 19 モズ

全長20cm (体重31~44g)

## スズメ目モズ科

4月上~6月上、10月上~11月中



2020年4月5日

田んぼ周辺や管理棟<sup>とう</sup>からイベント広場間などの開けたところで見られる留鳥<sup>りゅうちよう</sup>。昆虫類<sup>こんちゅう</sup>やカエル、トカゲ等を食べるが、捕えた獲物<sup>えもの</sup>を木の枝にさす習性(モズのはやにえ)がある。



バッタを捕らえた 2020年10月18日

## 20 カケス

全長33cm (体重122~147g)

## スズメ目カラス科

4月中~5月上、11月中



2019年4月12日

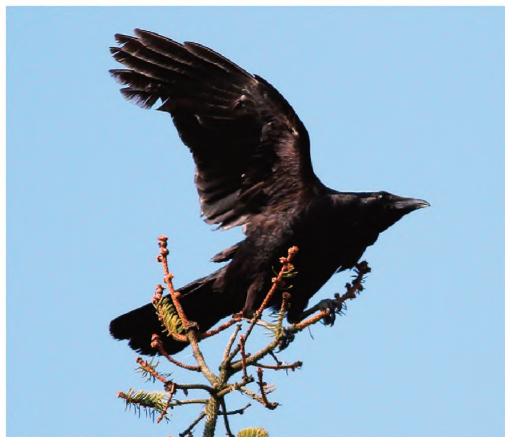
イベント広場周辺で見られる漂鳥<sup>ひょうちよう</sup>。どんぐりを主に食べるが雑食性。木の幹<sup>みき</sup>などにどんぐりを隠し、あとで食べる習性がある。鳴き声は「ジェー」。

## 21 ハシボンガラス

## スズメ目カラス科

全長50cm (体重320~686g)

4月上~8月中、10月上~11月中



2019年5月24日

全域<sup>いさ</sup>の開けた場所で見られる  
留<sup>りゅう</sup>鳥<sup>ちよう</sup>。おでこの出っ張りが  
なく鳴き声は「ガー、ガー」  
としわがれた声でなく。クルミなどを高いところから道路などに落として車にひかせて中の実<sup>かしこ</sup>を食べる等の賢さ<sup>かしこ</sup>がある。

## 22 ハシブトガラス

## スズメ目カラス科

全長56cm (体重600~750g)

4月上~8月中、10月下~11月中



2020年4月30日

全域<sup>いさ</sup>の開けた場所で見られる  
留<sup>りゅう</sup>鳥<sup>ちよう</sup>。おでこが出っ張りく  
ちばしは太い。鳴き声は「カ  
アー、カアー」と濁<sup>にご</sup>らない。



2020年6月1日

## 23 ヤマガラ

全長14～16cm (体重17～22g)

## スズメ目シジュウカラ科

4月上～11月下



2019年4月7日

幼鳥 2019年6月25日

いき けりょうちよう こん  
 全域で見られる留鳥。昆虫の幼虫やクモ、エゴノキの実などを食べる。胸は赤レンガ色。鳴声は「ツツ、ニーニー」と鳴き「ツー、ツー、ピー」とゆっくりしたテンポでさえずる。



蛾の幼虫をプレゼント  
 2019年5月27日

## 24 ヒガラ

全長10～12cm (体重6～10g)

## スズメ目シジュウカラ科

4月上～6月下、10月中～11月下



2019年4月14日

いき ひようちよう  
 全域で見られる漂鳥。夏はより標高の高いところへ移動しているようだ。杉林等で小昆虫類やクモ、草木の種子などを食べる。繁殖期以外は群れで生活、地鳴きは「チー」などと鳴き、「ツピー、ツピー、ツピー」と涼やかな声で連続してさえずる。



## 25 シジュウカラ

全長14~15cm (体重14~17g)

## スズメ目シジュウカラ科

4月上~7月中、10月上~11月下



♂ (中央黒線が太い)  
2020年5月12日

巣材のコケを運ぶ♀(中央黒線が細い)  
2019年4月12日

全域で見られる留鳥。昆虫及びその幼虫やクモ、種子や実などを食べる。地鳴きは「ジュクジュク」や「ツピー」で、「ツーピーツピー」「ツツピー、ツツピー」などとさえずる。



巣立ちビナ 2020年5月18日

## 26 エナガ

全長14cm (体重6~8g)

## スズメ目エナガ科

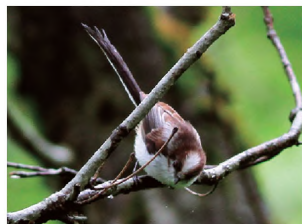
4月中~8月上、10月上~11月下



2019年4月6日

巣作り 2019年4月8日

全域で見られる留鳥。小さな昆虫類やクモを食べる。春に木の二股の箇所にコケを集めて袋状の巣を作る。鳴声は「ジュリリリ」または「チリリリ」など。



幼鳥 2019年6月25日

## 27 ツバメ

全長17cm (体重17g)

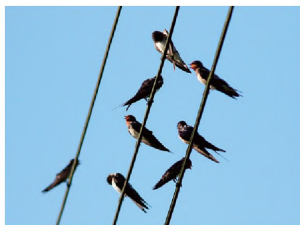
## スズメ目ツバメ科

5月下旬、8月上旬



2019年5月27日

電線及び上空を飛行しているのが見られる夏鳥。集落周辺で繁殖するので杉沢の森へは繁殖が終わった後に餌を求めて飛来する。



電線に止まる集団 2020年8月10日

## 28 ヒヨドリ

全長28cm (体重60~75g)

## スズメ目ヒヨドリ科

4月上旬~7月中、9月下旬~11月中



2019年5月10日

全域で見られる留鳥。雑食性で昆虫の幼虫や花やその芽・蜜や果物など何でも食べる。鳴声は「ピーー」「ピーヨ、ピーヨ」など。

## 29 ウグイス

## スズメ目ウグイス科

全長14～16cm (体重10～22g)

4月上～8月上、10月中



2019年5月18日

全域に生息する留鳥。ヤブの  
中で生活するので姿を見るの  
は難しい。♂と♀では大きさに  
差がある。昆虫類やクモなどを  
食べる。地鳴きは藪の中で「チャッチャツ」、さえずりは「ホー、ホケキョ」と大声で鳴く。

## 30 センダイムシクイ

## スズメ目ムシクイ科

全長13cm (体重7～12g)

4月中～6月下



2020年5月7日

コナラ林内で見られる夏鳥。  
昆虫類やその幼虫、クモなどを  
食べる。さえずりはわかりやすく「チヨ、チヨ、ジー」と鳴く。聞きなしは「焼酎いっぱいグイー (ショウチュウイッパイグイー)」「鶴千代君 (ツルチヨギミー)」「つかれたビー (ツカレタビー)」など。



## 31 メジロ

全長12cm (体重11g)

## スズメ目メジロ科

4月上～8月上、10月上



2019年4月14日

全域で見られる留鳥。眼の周りの白いアイリングが目立つ。桜の蜜が好物で作業棟脇の桜の開花時期は群れで飛来する。地鳴きは「チー」などで、「チイチョウチュイ」などとさえずる。聞きなしは「長兵衛、中兵衛、長中兵衛(チョウベイチュウベイチョウチュウベイ)」。

## 32 ムクドリ

全長24～25cm (体重75～90g)

## スズメ目ムクドリ科

4月中



2020年4月17日

田んぼ周辺で見られる漂鳥。人家周辺で普通に群れで見られる留鳥だが、杉沢の森では餌を探しに田んぼに稀にやってくるので漂鳥と記載した。

### 33 クロツグミ

全長22cm (体重50～70g)

### スズメ目ヒタキ科

4月下旬～6月中、7月中



ミミズを捕らえる♂  
2019年6月10日



杉の梢でさえずる♂  
2019年5月8日

森林内に生息する夏鳥。道路や田んぼ<sup>あぜ</sup>畦などで木の葉をひっくり返しミミズ<sup>ミミズ</sup>等を探している姿を見かける。警戒心<sup>けいがいしん</sup>は強く人に気づくとすぐ逃げる。地鳴きは「ツー」や「キョッキョウ」で、木の梢<sup>こすえ</sup>等で「キョロー、キョロー、キイコ、コキー、コキー」などと複雑<sup>ふくざつ</sup>にさえずる。

### 34 マミチャジナイ

全長22cm (体重58～73g)

### スズメ目ヒタキ科

5月上、11月上



2019年5月4日

コナラ林内を春秋に通過する旅鳥。明瞭な白眉斑<sup>めいりょうはん</sup>がある。ミミズや昆虫類の幼虫<sup>こちゅう</sup>などを食べる。警戒心<sup>けいがいしん</sup>が強く驚くとヤブに入る。



同一個体 背面

## 35 ツグミ

全長24cm (体重65~107g)

## スズメ目ヒタキ科

4月上~4月中、11月上~11月下



2020年4月17日

田んぼ周辺に11月頃北から飛来する冬鳥。地上で落ち葉をどけながらミミズや昆虫類の幼虫、などを食べる。地鳴きは「クワックワッ」「キョッ」などと鳴く。

## 36 ジョウビタキ

全長15cm (体重15g)

## スズメ目ヒタキ科

4月上~4月下



♂ 2020年4月7日

田んぼやイベント広場で春秋の一時期に見られる旅鳥。昆虫類やクモなどを食べる。♂の頭は白く、黒地の羽に白斑がある。「ヒッ、ヒッ」と鳴く。



♀ 2020年4月7日



## 37 ノビタキ

全長13cm (体重14g)

## スズメ目ヒタキ科

10月上～10月中



♂ 2019年10月7日

春秋の渡りの時期に田んぼ周辺を渡っていく旅鳥<sup>たびどり</sup>。尾羽<sup>おぼね</sup>をよく振る。枝先にとまり地上に降りて昆虫類<sup>おごん</sup>を食べる。春のみは頭が黒い。



♀ 2019年10月11日

## 38 コサメビタキ

SAVE 準絶滅危惧種

## スズメ目ヒタキ科

全長13cm (体重10～16g)

4月下～6月下



2019年4月28日

コナラ林で見られる夏鳥。明るい林を好む。飛翔<sup>ひしょう</sup>昆虫類<sup>おごん</sup>を飛びながら食べる。さえずりは「チュチイチチュチー」などと複雑<sup>ふくざつ</sup>。



求愛行動(鳴きながら尾羽を広げる)  
2020年5月14日

## 39 キビタキ

全長14cm (体重14~17g)

## スズメ目ヒタキ科

4月下~7月上、9月上



♂ 2020年5月6日

全域で見られる夏鳥。オオルリが木の梢など目立つところでさえずるのに対し森林内で鳴くので姿を見つけにくい。昆虫類やその幼虫、クモなどを食べる。地鳴きは「ピツ」などで、「ピックル、ピックル、オーシツクツク」など、いろいろな声でさえずる。

## 40 オオルリ

全長17cm (体重20~26g)

## スズメ目ヒタキ科

4月下~6月上



♂ 2019年6月9日

沢沿いの森林で見られる夏鳥。♂は目立つ場所に止まってさえずりなわばり主張をする。昆虫類や幼虫、クモなどを食べる。さえずりは「ピー、チュイチュイピージッ」など。鳴声の最後に「ジジッ」と入るのが特徴。



同個体 甲虫を捕獲

## 41 スズメ

全長15cm (体重24g)

## スズメ目スズメ科

4月中～7月下、11月中



2020年5月11日

幼鳥 くちばし根元は黄色く頬黒点の色が薄い  
2020年6月5日

人家近くに生息する普通の留鳥だが杉沢の森では漂鳥。2020年春に作業棟軒下で繁殖。草木の種子や実、昆虫類などを食べる。地鳴きは「チュン」さえずりは「チュツ、チュリ、チュチュチュ」など。

## 42 ニュウナイスズメ

全長14cm (体重20g)

## スズメ目スズメ科

4月上～6月中



♂ 2020年5月11日

松林周辺で見られる漂鳥。松枯木の樹洞で繁殖する森林性のスズメ。種子や昆虫やクモなどを食べる。♂はスズメに似るが頬に黒点がない。地鳴きは「チュン」などで、さえずりは「チュチュ、チーチュチョ」など。



幼鳥 2019年6月18日



## 43 キバシリ

SAVE 準絶滅危惧種

## スズメ目キバシリ科

全長14cm (体重7～9g)

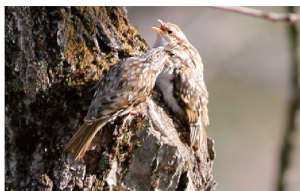
4月下～8月中、11月下



成鳥 2019年4月21日

幼鳥 2019年4月22日

2019年春に繁殖した漂鳥。  
小昆虫類やクモ等を食べる。  
木の幹を下から上にらせん状に登り、他の木に飛び移りまた登るなどの行動を繰り返す。杉林・コナラ林内の両方で活動、「ツリリリ」と鳴く。



給餌 2019年4月23日

## 44 キセキレイ

全長19cm (体重17g)

## スズメ目セキレイ科

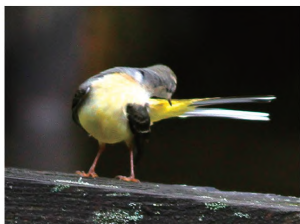
4月上、9月上～10月下



2019年10月7日

同日 正面

田んぼや沢田のビオトープ周辺で見られる漂鳥。黄色が目立つ。長い尾羽を上下に振りながら動き回っている。地鳴きは「チチン、チチン」だが繁殖期は複雑にさえずる。



羽の手入れ 2019年10月29日

## 45 セグロセキレイ

全長18～21cm (体重25～31g)

## スズメ目セキレイ科

5月下～8月下、10月上～10月下



2019年10月22日

田んぼや沢<sup>さわ</sup>田のビオトープ周辺で見られる漂<sup>ひょうちよう</sup>鳥。額と眉<sup>こゝろ</sup>が白い。昆虫類を食べる。地鳴きは「ジジイッジジイッ」と濁った声。



給餌 幼鳥は色が薄い  
2019年6月7日

## 46 ビンズイ

全長15cm (体重21g)

## スズメ目セキレイ科

4月下～5月上、10月中



2019年4月24日

イベント広場周辺及びコナラ林で見られる旅<sup>たびどり</sup>鳥。春と秋に杉沢の森を通過<sup>はんしよく</sup>する。繁殖の場所は高山<sup>こうざん</sup>。昆虫類やクモを食べる。警戒心<sup>けいかいしん</sup>が強く危険を感じると飛び上って木の枝に止まる。地鳴きは「ツイー、ズイー」等。

## 47 アトリ

## スズメ目アトリ科

全長16cm (体重17~26g)

4月上、11月中



♀ 2020年4月1日

冬鳥として全域に飛来。<sup>いさ</sup>田んぼのあぜなどで植物の種子などを食べる。大きな群れになることがある。♂の頭は春先に黒くなる。



♂ 2019年4月3日

## 48 シメ

## スズメ目アトリ科

全長18~19cm (体重45~65g)

5月下



2020年5月21日

春の渡り<sup>わた</sup>りの時期にコナラ林で見られる冬鳥。太いくちばしで草の種子などを食べる。



## 49 カワラヒワ

全長13~17cm (体重17~30g)

## スズメ目アトリ科

4月上~7月中、11月中



2019年4月28日

イベント広場や林縁で見られる漂鳥。<sup>りんえん</sup>冬は雪のない所へ移動。<sup>ひょうちよう</sup>草木の種子や実などを食べる。地鳴きは「チュイーン」さえずりは「キリリコロロ」。



巣材を集める 2020年5月11日

## 50 マヒワ

全長13cm (体重9~17g)

## スズメ目アトリ科

4月上~5月中、11月中~11月下



上は♂下2羽は♀ 2019年11月13日

全域で見られる冬鳥。<sup>いき</sup>11月頃北から飛来する。ハンノキやスギなどの種子を食べる。地鳴きは「チュイーン」などで、群れで行動する。

## 51 ウソ

全長15～16cm (体重21～34g)

## スズメ目アトリ科

4月中



♂ 2019年4月12日

春に作業棟脇の桜の木に飛来する冬鳥。♂は頬の赤みが美しいが、♀は赤色部分がない。地鳴きは「ファイフ」などと口笛をふくような柔らかい声。

## 52 イカル

全長22～24cm (体重60～85g)

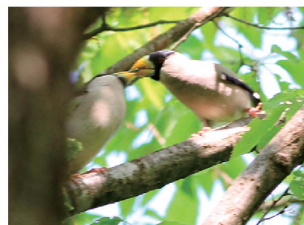
## スズメ目アトリ科

4月中～7月中、10月中



2019年5月10日

全域で見られる漂鳥。太い嘴で木の実などを食べる。地鳴きは「キョ」、さえずりは「キコ、キコ、キー」で「月日星 (ツキ・ヒ・ホシー)」と聞きなす。



同左 木の実をプレゼント

## 53 ホオジロ

全長17cm (体重20~26g)

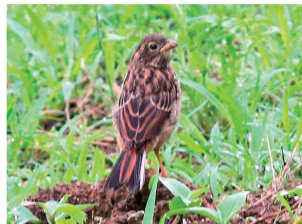
## スズメ目ホオジロ科

4月中~8月下、10月中~11月中



♂ 2020年6月7日

田んぼや広場、林縁<sup>りんえん</sup>で見られる留鳥<sup>りゅうちよう</sup>。草の種子等を食べる。地鳴きは「チチッ」と二声。さえずりは「一筆啓上仕り候(イッピツケイジョウツカマツリソウロウ)」と聞きなす。



幼鳥 2020年6月15日

## 54 カシラダカ

全長15cm (体重14~26g)

## スズメ目ホオジロ科

4月上~4月下、10月中~11月中



♀ 頭の毛を逆立てる=頭高(カシラダカ)  
2019年4月17日

田んぼや林縁<sup>りんえん</sup>で見られる冬鳥。群れで生活する。草木の種子を食べるので地上にいることが多いが、驚くとすぐ<sup>じゅうじよう</sup>に樹上に飛び上る。地鳴きは「チッ」。春先の天気の良い時



春先のみは頭が黒くなる  
2019年4月16日

には草上や樹上でヒバリに似た声でさえずるので「キヒバリ」と呼ばれる。



## 55 ミヤマホオジロ

全長15~17cm (体重15~24g)

スズメ目ホオジロ科

11月上



♂ 2019年11月2日

秋の渡りの時期にイベント広場周辺で見られる<sup>たびどり</sup>旅鳥。草の<sup>のこまゆ</sup>種子を食べる。喉や眉の黄色が美しい。



同左 正面

## 56 アオジ

全長16cm (体重21g)

スズメ目ホオジロ科

4月下、10月中~10月下



♂ 2020年4月28日

春と秋の<sup>わた</sup>渡りの時期に田んぼや草地周辺で見られる<sup>ひょうちょう</sup>漂鳥。草の種子を食べる。

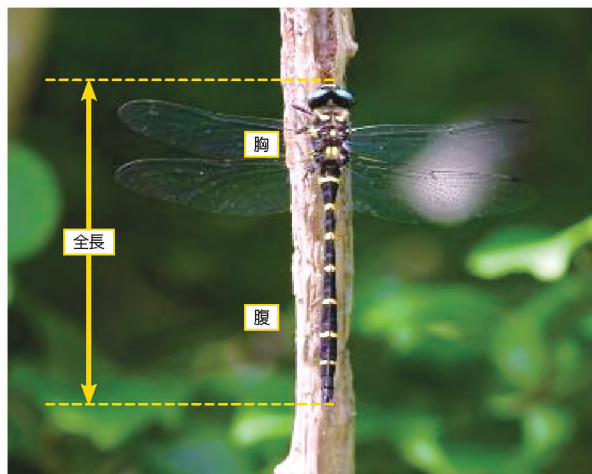


♀ 2019年10月22日

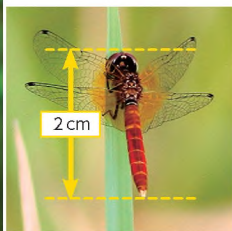
# 昆虫

トンボ





オニヤンマ



ハッチョウトンボ(実物大)

### 大きさ

全長の数字は『ポケット図鑑日本の昆虫1400②トンボ・コウチュウ・ハチ(株式会社文一総合出版)』から転記し、この本の未掲載種は『ネイチャーガイド日本のトンボ(株式会社文一総合出版)』を参考にした。

### 掲載順

『ネイチャーガイド日本のトンボ(株式会社文一総合出版)』に準じたが、比較が必要な種類は前後して掲載した。

### 杉沢の森のトンボ相

前回(H16年度)の調査で出現したが今回の調査の未確認種はセスジイトンボ、コオニヤンマ、ウスバキトンボの3種で、これを合計すると39種となる。ムジナ淵～沢田のビオトープ～ため池・田・休耕田のコースはトンボの宝庫である。



## 57 アオイトトンボ

全長34～48mm

## トンボ目アオイトトンボ科

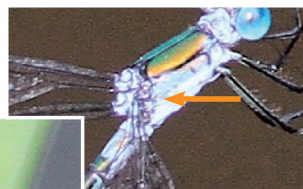
7月上、9月下～10月中



♂ 2019年9月23日

腹端内側とげはまっすぐ  
2019年10月16日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。オオアオイトトンボに似るが、オス腹端のとげが直線的なことで胸側面の金属光沢模様で見分ける。



金属光沢部分が下線に届かない。  
2020年10月4日

## 58 オオアオイトトンボ

全長40～55mm

## トンボ目アオイトトンボ科

7月上～8月上、10月中



♀ 2019年10月16日

さわ  
沢田のビオトープ周辺およびコナラ林内で見られる。♀は集団で樹木に産卵するために林内に入る。アオイトトンボに似るが、胸側面金属光沢部分の下線到達部が多いことから本種と判断した。



同左 胸側面拡大

## 59 ニホンカワトンボ

全長47～68mm

## トンボ目カワトンボ科

5月上～6月下



橙色翅型♂ 2019年6月1日

用水路<sup>およ</sup>及びその周辺の林で見られる。<sup>はね</sup>翅の色は<sup>だいだい</sup>橙色から無色まで様々。



無色翅型♂ 2019年5月15日

## 60 ハグロトンボ

全長54～68mm

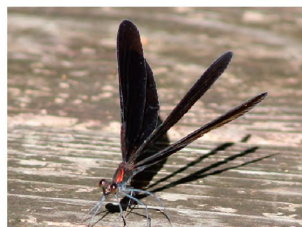
## トンボ目カワトンボ科

8月下～9月上



♀ 2019年9月6日

用水路とその周辺の林などで見られるが当地では少ない。<sup>はね</sup>翅色は一様に<sup>かつ</sup>黒褐色。天気がよいと翅をよく開閉する。



頻繁に翅を開閉する

# 61 アマゴイルリトンボ

SAVE 準絶滅危惧種

トンボ目モノサシトンボ科

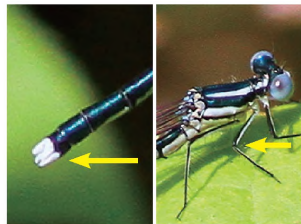
全長35～44mm

6月中～7月中



♂ 2019年6月18日

沢田のビオトープ周辺で見られる。三条市吉ヶ平雨乞池で発見されたのが名前の由来。分布は局地的。モノサシトンボと足と腹端の白色模様が異なる。



同個体部分拡大

# 62 モノサシトンボ

トンボ目モノサシトンボ科

全長38～51mm

5月下～9月中



♂ 2019年6月19日

沢田のビオトープ周辺で見られる。腹に均等に目盛りがあるように見えることからモノサシトンボと呼ばれる。



♀ 2020年6月12日



## 63 キイトンボ

全長31～48mm

## トンボ目イトトンボ科

5月中～9月中



♂ 2019年6月9日

沢田のビオトープ周辺で見られる。出現期間も長く<sup>しゅつげん</sup>個体数も多い。<sup>ふくた</sup>♂の腹端上部は黒い。♀は全体に緑色味が強い個体も見られる。



♀ 2020年6月7日

## 64 エゾイトトンボ

全長30～40mm

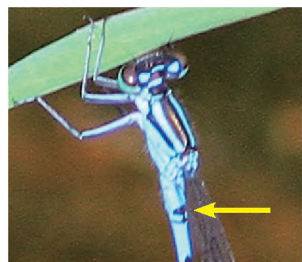
## トンボ目イトトンボ科

5月中～5月下



♂ 2019年5月18日

沢田のビオトープで見られるが出現期間は短く数も少ない。胸から続く<sup>むね</sup>腹上部にスぺード状の黒いマークがある。



胸・腹部拡大

## 65 クロイトトンボ

全長27～38mm

## トンボ目イトトンボ科

5月下、7月上



♂ 2019年7月10日

さわ  
沢田のビオトープで見られ  
る。♂は成熟すると黒化し  
頭、胸、腹の付け根が黒粉で  
覆われる。

## 66 オオイトトンボ

全長27～42mm

## トンボ目イトトンボ科

5月中～8月下



♂ 2020年6月7日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。出現期間は長い。類似  
種とは胸及び腹端の青色部分  
等で見分ける。♂♀で体色が  
異なり、メスは黄緑～黄褐色。



左♀右♂ 2020年5月24日

## 67 モートンイトトンボ

全長22～32mm

## トンボ目イトトンボ科

5月下旬～6月下旬



左♂右♀未成熟 2020年6月4日

さわ  
沢田のビオトープから下のた  
め池付近で見られる小さいイ  
トトンボ。♂は胸が青と黒色  
で腹部の 色が美しい。  
ふくぶ だいたい



交尾 2020年6月19日

## 68 アジアイトトンボ

全長24～34mm

## トンボ目イトトンボ科

5月中～6月上、10月上～10月中



♂ 2019年10月16日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で春と  
秋に見られる。他のイトトン  
ボとは腹端の青色部分等で見  
分ける。移動性が強く町中の  
田んぼで見られることもある。



♀未成熟 2020年5月15日



## 69 クロスジギンヤンマ

全長64~87mm

トンボ目ヤンマ科

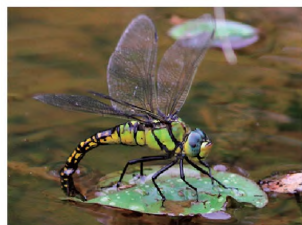
5月中~6月上



♂ 2019年5月20日

♀ 2020年5月16日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。ヤンマ類の中では出現期が早い。胸に細い黒線があるのが特徴。



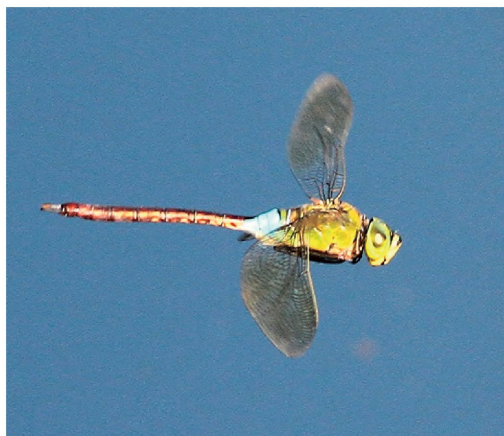
同左 産卵

## 70 ギンヤンマ

全長65~84mm

トンボ目ヤンマ科

7月中~10月上



♂ 2020年10月4日

きゅうこうでん  
ムジナ淵から休耕田間で見られる緑色が鮮やかなヤンマ。胸側面はほぼ無紋。類似種のクロスジギンヤンマより出現時期が遅い。



交尾 2019年9月16日

## 71 オオルリボシヤンマ

全長76～94mm

トンボ目ヤンマ科

10月上



2019年10月10日

さわ  
沢田のビオトープやため池で  
見られる。見られる機会<sup>きかい</sup>は  
少なく 2019 年シーズンは  
数回確認<sup>かくにん</sup>できたが、2020 年  
シーズンは確認できなかった。

## 72 ウチワヤンマ

全長70～87mm

トンボ目サナエトンボ科

8月上



2020年8月3日

田んぼ周辺で見られる。ウチ  
ワヤンマという和名だがサナ  
エトンボの仲間<sup>はら</sup>。腹先のウチ  
ワ状<sup>じよう</sup>の広がり<sup>とくろよう</sup>に特徴がある。  
2020年8月の1回だけ出現。

## 73 オナガサナエ

全長53～66mm

トンボ目サナエトンボ科

9月中



2019年9月16日

ムジナ淵の周辺で見られる。  
♂腹先の付属器は長くて特徴的。2019年9月に1回だけ出現した。

## 74 コサナエ

全長40～47mm

トンボ目サナエトンボ科

5月上～6月上



2019年5月18日

さわ  
沢田のビオトープで見られる  
小型のサナエトンボ。胸部前  
面のL字状の黄色紋形状等で  
他種と見分ける。



胸部前面黄色L字状紋の幅はほぼ均一  
2020年5月23日



## 75 ムカシヤンマ

全長63～80mm

## トンボ目ムカシヤンマ科

5月中～6月中



2020年5月18日

さわ  
沢田のビオトープ周辺やブナ  
王付近で見られる。トンボの  
中でも最も原始的なグループ  
と考えられている。



2020年5月18日

## 76 オニヤンマ

全長82～114mm

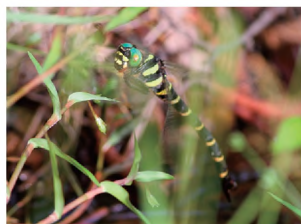
## トンボ目オニヤンマ科

7月上～10月上



2019年9月6日

い  
全域で見られる。国内のトン  
ボでは最大。ヤンマ科に似る  
が複眼が一点だけ接する（ヤ  
ンマ科は離れる）点が違う。



産卵 2019年9月23日

## 77 オオヤマトンボ

全長78～92mm

トンボ目ヤマトンボ科

6月下、8月中～9月上



2020年6月25日

ムジナ淵で見られる。水面上で偵察飛行<sup>ていさつ</sup>を長時間繰<sup>く</sup>り返している。水面が開けた池沼を好む。顔正面の黄色線<sup>この</sup>の数で類似種<sup>るいじ</sup>と見分ける。



顔正面黄色線2本  
2020年8月28日

## 78 チョウトンボ

全長31～42mm

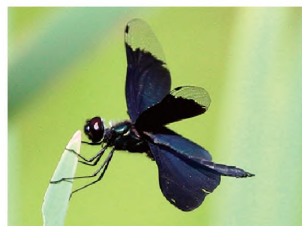
トンボ目トンボ科

6月下～8月上



2019年7月6日

さわ  
沢田のビオトープから田んぼ間で見られる。ひらひらとチョウのように飛ぶ<sup>はね</sup>。翅は大部分が黒いが、光が当たると虹色に輝く。  
にじ  
かきや



同左

## 79 ナツアカネ

全長33～43mm

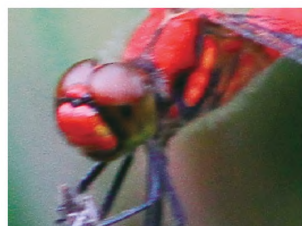
トンボ目トンボ科

9月下



2019年9月23日

さわ  
沢田のビオトープからムジナ  
渦間で見られる。アキアカネ  
に似るが、成熟したオスはより  
朱色が強く顔まで赤くなる。  
数は少ない。



同左 頭胸部拡大

## 80 ノシメトンボ

全長37～52mm

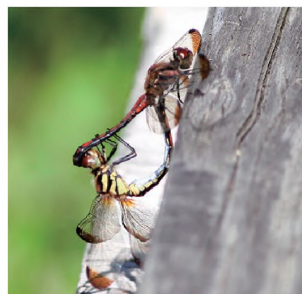
トンボ目トンボ科

7月上～10月中



2019年9月6日

いさ  
全域で見られる。はねせんたん  
色のアカトンボ。胸側面の黒  
色模様は翅の付け根まで届  
く。



交尾 2019年10月16日



## 81 アキアカネ

全長32~46mm

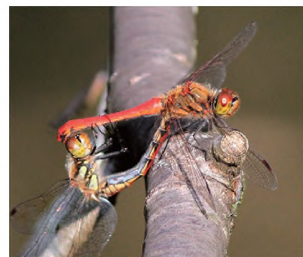
トンボ目トンボ科

6月下旬~10月中



♂ 2019年8月27日

いっき  
全域で見られる。6月下旬に発生するが夏は少なくなる。標高の高いところに移動しているらしい。また秋に多くなる。



交尾 2019年10月4日

## 82 コノシメトンボ

全長36~48mm

トンボ目トンボ科

10月上



2019年10月10日

ムジナ湯から<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ間で見られる。ここでは少ない。翅先が黒いアカトンボの仲間。類似種とは胸の黒色線の模様で見分ける。(黒色線が翅の付け根まで届かない)



胸部拡大

## 83 マユタテアカネ

全長30～43mm

## トンボ目トンボ科

7月上～10月中



♂ 2019年10月16日

さわ  
沢田のビオトープからムジナ  
渦間で見られる。顔面に一対  
の黒い眉状紋があるのが名  
前の由来だが、この特徴だけ  
では断定できず、胸側面の模  
様等で総合的に判断する。



♀ ツマグロ型(翅先黒でノシメトン  
ボに似る)  
2019年8月27日

## 84 キトンボ

全長37～47mm

## トンボ目トンボ科

9月下～10月中



2019年10月19日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。翅の大部分が橙黄色  
のアカトンボ。ショウジョウ  
トンボ♀・♂未成熟に似るが  
首筋に毛があること等で見分  
ける。



2019年9月29日

## 85 コシアキトンボ

全長40～50mm

トンボ目トンボ科

7月中～8月上



♂ 2019年7月13日

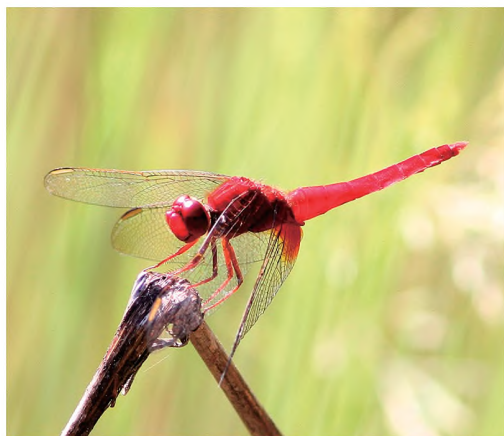
ムジナ湯放水口付近で見られる。  
腹の付け根部分が♂は白く♀は黄色くなるのが特徴。

## 86 ショウジョウトンボ

全長38～55mm

トンボ目トンボ科

6月上～8月上



♂ 2020年6月16日

沢田のビオトープ周辺で見られる。  
成熟♂は全身が鮮やかな朱色となる。胸側面に黒色模様がない。♀は色が薄い。「ショウジョウ」とは中国空想上の赤い動物のこと。



♀ 2019年6月9日



## 87 ハラビロトンボ

全長32～42mm

トンボ目トンボ科

5月中～7月上



♂ 2019年6月15日

♂半成熟 2020年5月16日

さわ 沢田のビオトープから休耕田  
間及びイベント広場周辺で見  
られる。名前のとおり腹が扁  
平に広がる。♂の体色は成熟  
過程で黒から青に変わる。



♀ 2019年6月9日

## 88 シオカラトンボ

全長47～61mm

トンボ目トンボ科

5月中～10月上



♂ 2019年7月7日

さわ 沢田のビオトープからイベン  
ト広場周辺で見られる。♂は  
成熟すると胸や腹背面が白粉  
「シオカラ」で覆われる。こ  
れが和名の由来。♀はやや緑  
色味があり「ムギワラトンボ」



♀ 2020年6月5日

と呼ばれる。  
翅の付け根  
はほぼ無紋。

## 89 シオヤトンボ

全長36～49mm

## トンボ目トンボ科

4月下～6月上



♂ 2019年4月28日

羽化 2020年4月19日

春一番先にムジナ淵から<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ間で見られる。シオカラトンボに似るが、大きさは一回り小さく、<sup>だいたい</sup>体は太く感じる。翅の付け根は<sup>はね</sup>橙色。



♀ 2019年4月28日

## 90 オオシオカラトンボ

全長49～61mm

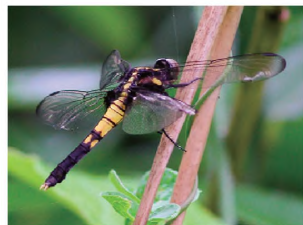
## トンボ目トンボ科

6月中～10月上



♂ 2019年6月21日

<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ周辺や<sup>しめ</sup>湿り気のある森林内などで見られる。シオカラトンボに似るが、やや大きく体は太め。翅の付け根は<sup>はね</sup>黒色。



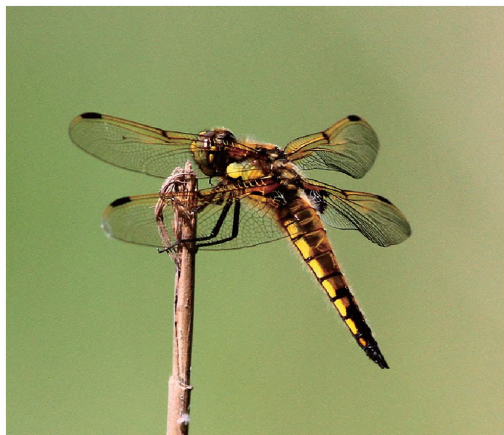
♀ 2020年6月12日

## 91 ヨツボシトンボ

全長38～52mm

## トンボ目トンボ科

5月上～6月中



2019年 5月18日

ムジナ<sup>きゆうこうでん</sup>湯から休耕<sup>まえばね</sup>田間<sup>うしろばね</sup>で見られる。前<sup>しよ</sup>翅と後翅の中央の箇<sup>か</sup>所に4つの黒点があるのが名前の由来。

## 92 ハッチョウトンボ

全長17～21mm

## トンボ目トンボ科

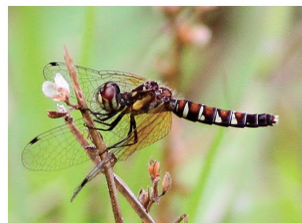
5月中～8月上



♂ 2020年 6月13日

♂未成熟  
2020年 6月9日

沢<sup>さわ</sup>田のビオトープから田んぼ間で見かけるが、田んぼ側に多い。かつてはイベント広場上の湿地<sup>しつち</sup>にも生息。国内最小のトンボで1円玉ぐらいの大きさ。



♀ 2020年 6月7日

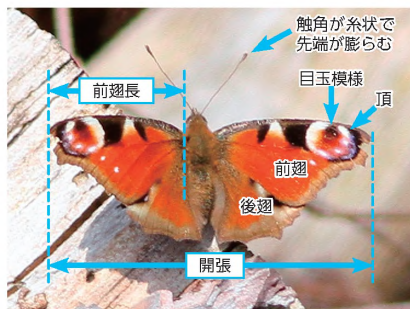


# 昆虫

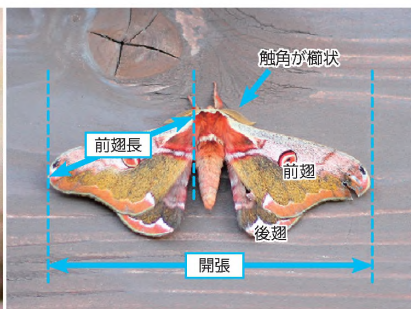
チョウ・ガ



チョウとガの一番の違いは触角の形である。チョウは触角の先端が膨らむが、ガは房状や櫛状、先端が膨らまない糸状等である。



クジャクチョウ



ヒメヤママユ

### 大きさ

大きさは開張とした。チョウについては『ポケット図鑑日本の昆虫 1400 (株式会社文一総合出版)』から引用したが、未掲載種については『学研の図鑑 LIVE 昆虫 (株式会社学研教育出版)』の数字を使用した。ガの開張や食性について『日本産蛾類標準図鑑 (株式会社学研教育出版)』や HP「みんなで作る日本産蛾類図鑑 V2」から引用した。

### 掲載順

チョウは『フィールドガイド日本のチョウ (株式会社誠文堂新光社)』の掲載順とし、ガはアゲハモドキ科、ツバメガ科、シャクガ科、カレハガ科、ヤママユガ科、スズメガ科、シャチホコガ科、ドクガ科、ヒトリガ科、ヤガ科、イラガ科、ツトガ科、トリバガ科の順で見やすいように配置した。

### 杉沢の森の蝶相について

前回 (H16年度) の調査で出現したが今回調査未確認種はミヤマチャバネセセリ、アサギマダラ、クモガタヒヨウモン、ヒオドシチョウ、スジグロシロチョウ、サトキマダラヒカゲの6種で合計すると48種となり、杉沢の森全体は良好な環境が保たれている。またツマグロキチョウは新潟県で数十年ぶりの記録となった。

### 杉沢の森の蛾相について

今回ガイドブックに載せた種数はほんの一部分で、2年間で約140種類観察された。

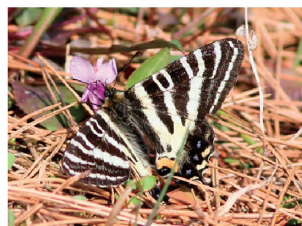
開張50～60mm

4月中



2019年4月14日

コナラ林など明るい林内に出現する「春の妖精」<sup>ようせい</sup>。幼虫はコシノカンアオイの葉を食べる。成虫はスマレや桜などの花蜜<sup>かみつ</sup>を吸う。



スマレの蜜を吸う  
2020年4月17日

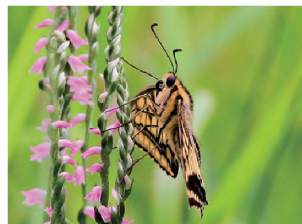
開張70～90mm

5月上～8月下



2019年5月6日

イベント広場周辺で見られる。幼虫はセリ、シシウド、ニンジン（セリ科）<sup>に</sup>等を食べる。ナミアゲハに似るが、翅色は黄色みが強く、前翅表面の付け根は黒い。



ネジバナの蜜を吸う  
2019年6月23日



## 95 キタキチョウ

開張35~45mm

## チョウ目シロチョウ科

5月上~11月下



左秋型、右夏型 2019年10月4日

イベント広場から<sup>あずまや</sup>①間の  
歩道脇<sup>わき</sup>や田んぼ周辺などで見  
られる。幼虫はハギやネム  
ノキ(マメ科)などを食べる。  
<sup>はねおもて</sup>翅表が黒く縁<sup>ふち</sup>どられる夏型、  
ほぼ黄色一色の秋型、それら  
の中間型も出現する。



羽化間近いさなぎ  
2019年10月5日

## 96 ツマグロキチョウ

開張35~40mm

## チョウ目シロチョウ科

10月上



2019年10月3日

イベント広場付近の草地で見  
られた。幼虫はカワラケツメ  
イ、アレチケツメイ(マメ科)  
などの葉を食べる。分布はキ  
タキチョウと比べると局  
地的。翅裏面に3本の線が見  
られることがキタキチョウと  
の見分けポイント。新潟県で  
数十年ぶりの記録となった。

## 97 モンキチョウ

開張40～50mm

チョウ目シロチョウ科

6月上～6月中、10月上



2020年6月7日

さわ  
沢田のビオトープ周辺の草地  
で見られた。<sup>はねうら</sup>翅裏は黄色みを  
帯び<sup>まえばね</sup>前翅中央に黒点がある。  
<sup>よう</sup>幼虫はシロツメクサやレンゲ  
ソウなどの葉を食べる。

## 98 モンシロチョウ

開張35～45mm

チョウ目シロチョウ科

6月上～7月中、10月上



2020年6月12日

広場や田んぼなどで見られ  
る。<sup>よう</sup>幼虫はキャベツ、アブラ  
ナ、タネツケバナ (アブラナ  
科) 等を食べる。日中農地周  
辺を活発に<sup>ひしょう</sup>飛翔し、タンポポ  
やハルジオンなどの花を訪  
れる。



同左

## 99 ウラギンシジミ

開張35~40mm

## チョウ目シジミチョウ科

10月上~11月下



♀ 2019年11月23日

あずまや<sup>とう</sup>東屋①や作業棟<sup>よう</sup>周辺で見られる。幼虫はクズ、フジ、ハリエンジュ（マメ科）などの葉を食べる。翅をやや開いて止まる。翅裏は銀白色で翅表中央は♂が赤色、♀が青色。



♂ 2020年10月4日

## 100 ゴイシジミ

開張25~30mm

## チョウ目シジミチョウ科

6月上~10月中



アブラムシの分泌物を吸う 2020年8月28日

さわ<sup>きさ</sup>沢田のビオトープ周辺の笹やぶで見られる。幼虫は純肉食性でササ類につくアブラムシ<sup>よう</sup>等を食べる。成虫は翅裏面に黒色点がある。ササの葉にとまり、アブラムシの分泌物<sup>はねうら</sup>を吸う。



2019年6月5日



## 101 ミズイロオナガシジミ チョウ目シジミチョウ科

開張30～35mm

6月中～7月中



2019年6月17日

作業棟<sup>とう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間のコナラ林で見られる<sup>よう</sup>。幼虫はコナラ、クヌギ、ミズナラ等の葉を食べる。名前の通り尾<sup>うら</sup>が長い。白<sup>しろ</sup>地の裏面<sup>うら</sup>に縦<sup>たて</sup>の黒色帯<sup>はね</sup>。翅表面は黒っぽい。

## 102 アカシジミ

開張35～45mm

チョウ目シジミチョウ科

6月上～7月上



2019年6月4日

コナラ林内<sup>およ</sup>及び林縁<sup>りんえん</sup>で見られる。幼虫<sup>よう</sup>はコナラ、ミズナラ、クヌギ等の葉<sup>は</sup>を食べる。翅裏面<sup>はねうら</sup>はオレンジ色の地<sup>はね</sup>に白<sup>しろ</sup>い縦線<sup>たて</sup>が数本ある。

## 103 ウラナミアカシジミ

## チョウ目シジミチョウ科

開張40～45mm

6月上～7月上



2020年6月9日

作業棟から<sup>とう</sup>沢田のビオトープ  
周辺にかけて見られる。<sup>よう</sup>幼虫  
はコナラ、ミズナラ（ブナ科）  
などの葉を食べる。成虫はオ  
レンジ色の地に<sup>はね</sup>黒色の波模様  
がある。翅を閉じて止まり、  
<sup>じゅう</sup>樹液にも集まる。

## 104 トラフシジミ

## チョウ目シジミチョウ科

開張30～36mm

5月中



2019年5月20日

<sup>さわ</sup>沢田のビオトープで見られ  
る。<sup>よう</sup>幼虫はフジ、クズ、ウツ  
ギ、ノイバラ、ナツハゼ、ミ  
ズキ等の葉を食べる。翅裏面  
は褐色の地に<sup>はねうら</sup>太めの白色帯が  
<sup>かつ</sup>数本ある。

# 105 コツバメ

開張23～30mm

## チョウ目シジミチョウ科

4月下旬～5月上旬



2019年4月28日

作業棟<sup>どう</sup>周辺のドウダンツツジ  
植え込み<sup>こ</sup>やコナラ林内の歩道  
で見られる。幼虫<sup>よう</sup>はアセビや  
ヤマツツジ、ユキヤナギ等の  
葉を食べる。早春に出現し、  
せわしく飛ぶ



2019年5月4日

# 106 ベニシジミ

開張25～35mm

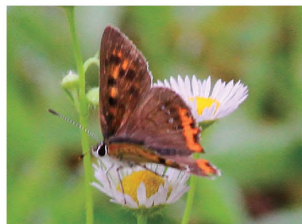
## チョウ目シジミチョウ科

5月上旬～10月中



春型 2019年5月11日

イベント広場周辺の草地で見  
られる。幼虫<sup>よう</sup>はスイバ(タデ  
科)等の葉を食べる。成虫の  
翅は紅<sup>はね</sup> 橙<sup>べに</sup> 色が目立つ。春型  
と夏型では前翅表<sup>まえばね</sup>の紅橙色部  
の大きさが違う。



夏型 紅橙色の面積が小さい  
2019年7月23日



# 107 ウラナミシジミ

開張25~35mm

## チョウ目シジミチョウ科

9月下~11月下



♂ 2019年11月23日

あずまや  
東屋①付近の草地で見られる。幼虫はエンドウなどの栽培種やクズ、ハギ類などの葉を食べる。成虫の裏面の白色帯は波状。秋に見られようになるが越冬することができない。



2020年10月18日

# 108 ヤマトシジミ

開張20~30mm

## チョウ目シジミチョウ科

8月上、9月下~10月中

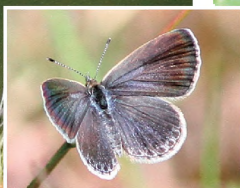


2020年10月4日

あずまや  
イベント広場や東屋①周辺の草地で見られる。幼虫はカタバミを食べる。成虫の翅裏は灰褐色地に黒色点が規則正しく並ぶ。



♂ 2020年8月5日



♀ 2019年10月16日

# 109 ルリシジミ

開張26～33mm

## チョウ目シジミチョウ科

6月下～7月上



2019年6月26日

沢田のビオトープからため池  
周辺で見られる。幼虫はヤマ  
ハギ、フジ、クズ、ミズキ、  
イタドリ等を食べる。成虫は  
ヤマトシジミに比べて翅裏面  
は白っぽく黒色点は小さく少  
ない。

# 110 ツバメシジミ

開張20～30mm

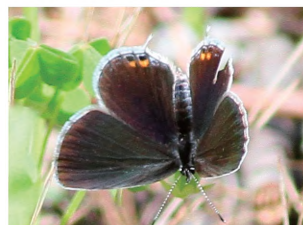
## チョウ目シジミチョウ科

5月上～7月上、8月下～9月下



♂ 2020年5月6日

広場付近や東屋①付近の草下  
で見られる。幼虫はレンゲソ  
ウ、シロツメクサ、カラスノ  
エンドウ、ヤマハギ等の葉を  
食べる。成虫の裏面は白っぽ  
く後翅に赤色部がある。



♀ 2020年5月24日

# 111 ミドリヒョウモン

開張65~80mm

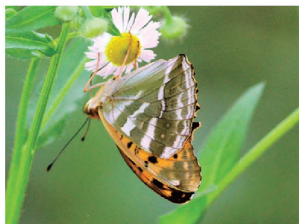
## チョウ目タテハチョウ科

6月中~6月下



♂ 2019年6月11日

イベント広場付近で見られる。幼虫はタチツボスミレ、オオタチツボスミレ(スミレ科)等の葉を食べる。成虫の後翅裏面の緑色味は♀の方が濃い。



♀ 2019年6月25日

# 112 ウラギンヒョウモン

開張55~70mm

## チョウ目タテハチョウ科

6月上~6月下、10月上~10月中



2020年6月7日

田んぼ周辺で見られる。幼虫はタチツボスミレ、オオタチツボスミレ(スミレ科)等の葉を食べる。成虫の後翅裏面のへりに並ぶ銀白色紋は三角形か半円形。



♂ 2本の性標が目立つ  
2019年6月17日



# 113 オオウラギンスジヒョウモン チョウ目タテハチョウ科

開張60~75mm

6月下



♂ 2019年6月26日

田んぼ周辺で見られる。幼虫はタチツボスミレ、ニョイスミレ等を食べる。成虫の前翅頂付近はやや細くとがり気味。♂の性標は3本。



♂ 3本の性標が目立つ  
2019年6月26日

# 114 ウラギンスジヒョウモン チョウ目タテハチョウ科

開張50~70mm

6月下~8月下



♂ 2本の性標が目立つ 2019年8月6日

田んぼ周辺で見られる。幼虫はタチツボスミレなどの葉を食べる。成虫は前翅頂に丸みがあることと♂性標が2本であることで類似種と見分ける。♀は前翅頂付近に白色紋がある。



♀ 2019年8月31日

# 115 メスグロヒョウモン

開張65~75mm

チョウ目タテハチョウ

8月上~10月中



♀ 2019年9月6日

♂ 2019年8月31日

全域で見られる。幼虫はタチツボスミレなどの葉を食べる。成虫♂は前翅表面の付け根付近にある黒色線が“三”紋でなく“一”紋であることで類似種と見分ける。メスの色彩は黒く特徴的。



同左 拡大

# 116 ツマグロヒョウモン

開張60~70mm

チョウ目タテハチョウ科

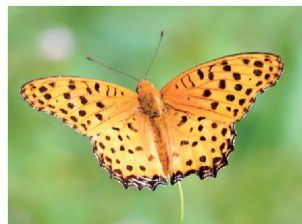
10月上~10月中



♀ 2019年10月10日

産卵 左と同一個体

田んぼ周辺で見られる。幼虫はパンジーなど栽培種を好むが、タチツボスミレ、スミレなどの在来種も利用する。成虫♀は翅表の紫色が特徴的。近年北へ分布を広げている。



♂ 2020年10月4日



# 117 イチモンジチョウ

開張45~55mm

チョウ目タテハチョウ科

6月上~7月中



2019年6月9日

全<sup>い</sup>域で見られる。幼<sup>よう</sup>虫はスイカズラ、タニウツギ(スイカズラ科)等の葉を食べる。成虫は翅<sup>はね</sup>中央に一筋<sup>ひとすじ</sup>の白色線がある。



翅裏面 2020年6月3日

# 118 コミスジ

開張44~55mm

チョウ目タテハチョウ科

5月中~7月中



2019年5月16日

全<sup>い</sup>域で見られる。幼<sup>よう</sup>虫はフジ、クズ、ハリエンジュ(マメ科)等の葉を食べる。成虫は翅<sup>はね</sup>上面に3本の白い線がある。



裏面 2020年6月8日



# 119 キタテハ

開張50~60mm

## チョウ目タテハチョウ科

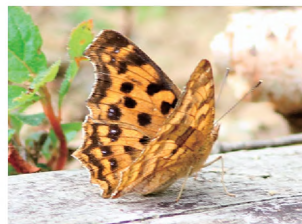
6月中、10月上~11月上



秋型 2020年10月18日

同左 裏面

さわ 沢田のビオトープやあずまや①周辺の草地で見られる。幼虫はカナムグラ・ホソバイラクサ等の葉を食べる。成虫は淡い橙色の夏型と濃い橙色の秋型がある。



夏型 2020年6月11日

# 120 ルリタテハ

開張50~65mm

## チョウ目タテハチョウ科

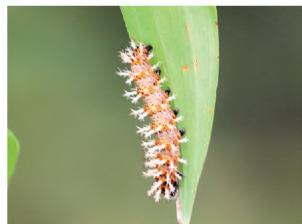
4月上~10月中



2020年6月23日

裏面 2019年8月27日

いき 全域で見られこ 個体数も多い。コナラの樹液にもよく来る。幼虫はサルトリイバラ、ヤマユリ等の葉を食べる。成虫の翅裏面は濃淡のある黒褐色で目立たない。



幼虫 2019年10月19日

## 121 ヒメアカタテハ

開張40～50mm

チョウ目タテハチョウ科

6月上



2019年6月9日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。幼虫はハハコグサ、ヨ  
モギ等を食べる。成虫はアカ  
タテハよりやや小さく裏面は  
やや明るい。(アカタテハは  
裏面が暗褐色)

## 122 アカタテハ

開張50～60mm

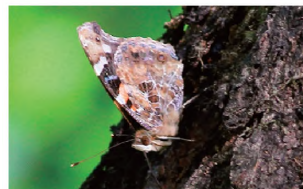
チョウ目タテハチョウ科

5月中～10月上



2019年6月18日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れ、樹液にもくる。幼虫はカ  
ラムシ、イラクサ等の葉を食  
べる。成虫の後翅表面は褐色  
で赤く縁どられ、裏面は暗い  
ことでヒメアカタテハと見分  
ける。



2020年5月12日

## 123 クジャクチョウ

開張50～55mm

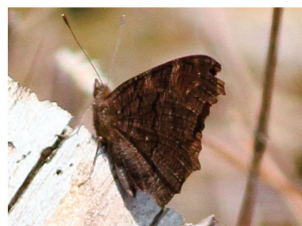
## チョウ目タテハチョウ科

4月中



2019年4月14日

春先にイベント広場周辺で見られる。幼虫はイラクサ等を食べる。成虫は翅表の眼状紋が特徴的。裏面は黒褐色で目立たない。



同左 翅裏面

## 124 オオヒカゲ

開張65～75mm

## チョウ目タテハチョウ科

6月中～10月上



2019年7月3日

全域で見られる。幼虫はカサスゲ、オニスゲ、(カヤツリグサ科)、ススキ(イネ科)等を食べる。成虫の大きさはジャノメチョウの仲間では国内最大。林内のやや湿った場所を好み、樹液などにも集まる。



## 125 クロヒカゲ

開張45～55mm

## チョウ目タテハチョウ科

5月下旬～10月中



2019年6月4日

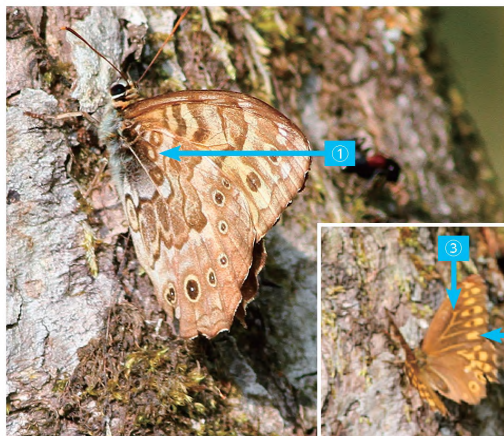
作業棟<sup>どう</sup>と沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間の森林内で見られた。幼虫<sup>ようちゅう</sup>はメダケ、ヤダケ、クマザサ、ミヤコザサ（イネ科）等を食べる。成虫<sup>せいちゅう</sup>の翅裏<sup>はねうら</sup>には目玉模様があるが、前翅頂<sup>まえへいいたadaki</sup>の紋は小さく、一番下の目玉模様は消失傾向にある。後翅裏面<sup>うしろばねうら</sup>の黒色線は紋に沿うように曲がる。

## 126 ヤマキマダラヒカゲ

開張55～65mm

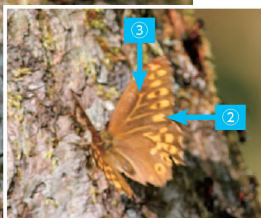
## チョウ目タテハチョウ科

5月上旬～8月下旬



作業棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープに間の歩道脇<sup>わき</sup>のコナラの樹液<sup>じゅけつ</sup>に集まる。幼虫<sup>ようちゅう</sup>はチマキザサ、チシマザサ、ススキ等を食べる。類似種サトキマダラヒカゲの見分けは①3つ目の点が大きくずれる。

②黄色の中に黒点がないことで本種と判断し、♂♀の見分けは③黄色楕円基部が広がらないので♂とした。



♂ 2020年6月3日

同一個体 翅表

## 127 ヒメジャノメ

開張40～50mm

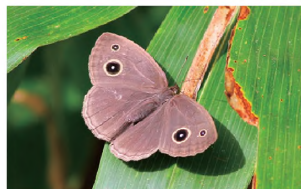
チョウ目タテハチョウ科

6月上～8月下



2019年6月17日

作業棟<sup>とう</sup>から<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ  
間で見られる。幼虫<sup>よう</sup>はイネ、  
チヂミザサ、ススキ、カサス  
グ等<sup>もよう</sup>を食べる。成虫<sup>せい</sup>の翅<sup>はね</sup>には  
大きな目玉模様<sup>めよう</sup>があり、裏面<sup>うら</sup>  
にはまっすぐに伸びた白線<sup>しせん</sup>が  
ある。



同左 翅表

## 128 ヒメウラナミジャノメ チョウ目タテハチョウ科

開張30～40mm

5月中～8月上



2019年6月1日

全<sup>い</sup>域で見られる。幼虫<sup>よう</sup>の食草  
はチヂミザサ、ススキ、ショ  
ウジョウスゲ等の葉<sup>は</sup>を食べ  
る。成虫<sup>せい</sup>は花<sup>はな</sup>にも訪<sup>い</sup>れるが  
ジャノメチョウ<sup>め</sup>では異<sup>い</sup>例<sup>れい</sup>。裏面<sup>うら</sup>  
に波<sup>なみ</sup>模様<sup>もよう</sup>がある。後翅<sup>こうし</sup>裏面<sup>うら</sup>  
の目玉模様<sup>めよう</sup>は  
5つ以上ある。



同左 翅表

# 129 ダイミョウセセリ

開張30~40mm

## チョウ目セセリチョウ科

6月下



2019年6月26日

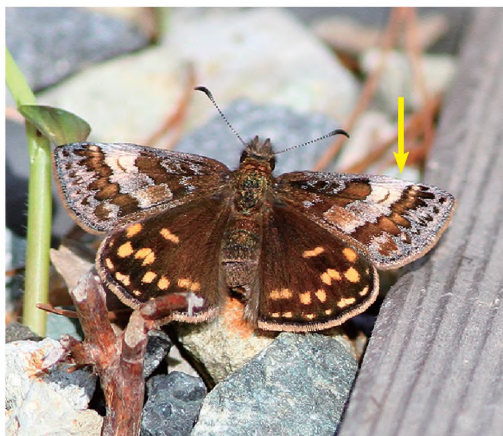
コナラ林の開けたところで見られる。幼虫はヤマノイモやオニドコロ等を食べる。成虫は翅を広げてとまり、前翅に白色斑がある。

# 130 ミヤマセセリ

開張35~42mm

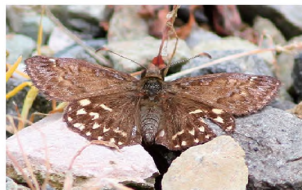
## チョウ目セセリチョウ科

4月中~5月上



♀ 2019年4月28日

コナラ林内で春早く見られる。幼虫はコナラ、クヌギ、ミズナラ等(ブナ科)の葉を食べる。成虫は翅を広げて止まるセセリチョウの仲間。前翅中央に白帯があるのが♀。



♂ 2020年5月6日



## 131 コチャバナセセリ

開張30～36mm

## チョウ目セセリチョウ科

5月上～6月上、7月下～8月下



2019年8月31日

全域で見られる。幼虫はクマザサ、ミヤコザサ、メダケ等を食べる。成虫の翅裏面の脈は黒い筋状で間に白色点がある個体とない個体がいる。



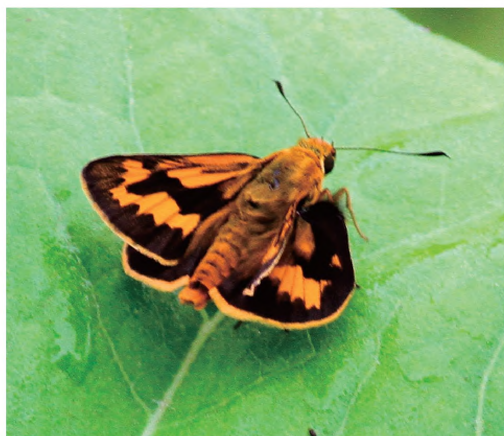
白色点がない個体  
2020年5月24日

## 132 キマダラセセリ

開張25～32mm

## チョウ目セセリチョウ科

6月下



2020年6月25日

沢田のビオトープで見られた。幼虫はススキ等を食べる。成虫の翅表は褐色と黄色のまだら模様が特徴。杉沢の森で見かける機会は少ない。

# 133 イチモンジセセリ

開張34~40mm

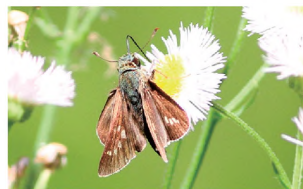
## チョウ目セセリチョウ科

6月上~9月下



2019年7月13日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。幼虫はイネ、メヒシ  
バ、ススキ等のイネ科植物を  
食べ、イネの害虫「イネツト  
ムシ」と呼ばれる。成虫は花  
の蜜を吸う。茶色の後翅裏面  
に白色点が直線的に並ぶ。



ハルジオンの蜜を吸う  
2019年6月1日

# 134 オオチャバネセセリ

開張30~40mm

## チョウ目セセリチョウ科

6月中~6月下



2019年6月15日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。幼虫の食草はミヤコザ  
サ、クマザサ等のイネ科植物。  
成虫の後翅裏面の白色点は互  
い違いに並ぶ。



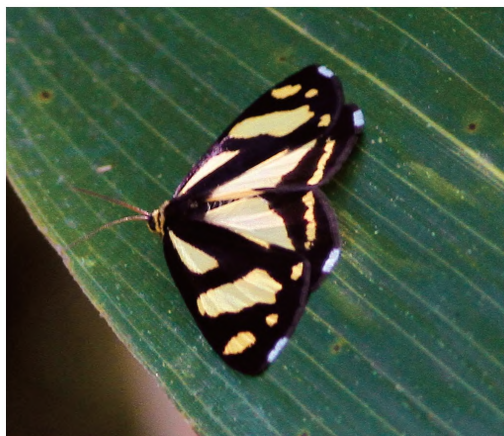
同左 正面

# 135 キンモンガ

開張32～39mm

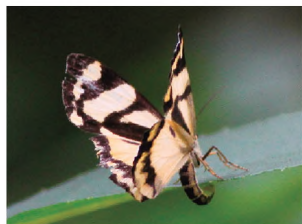
## チョウ目アゲハモドキ科

5月下～7月上



2019年5月25日

全域に普通に見られ数も多い。幼虫はリョウブ等の葉を食べる。成虫は黒地に薄黄色の紋が目立つ。昼間に活動し、翅を広げて止まっていることが多い。



リョウブに産卵 2019年7月20日

# 136 クロオビシロフタオ

開張15～20mm

## チョウ目ツバメガ科

8月下



2019年8月27日

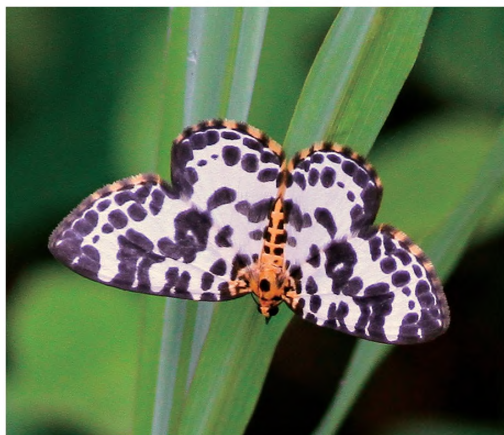
作業棟から沢田のビオトープ間で見られる。幼虫はガマズミ、オオカメノキの葉を食べる。成虫は2cm程度の小さなガで翅を広げた姿がT字のように見えるツバメガの仲間。鳥の糞に擬態しているといわれる。



# 137 マルモンシロナミシャク チョウ目シャクガ科

開張30～37mm

6月中



2019年6月11日

作業棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ  
間で見られる。幼虫<sup>よう</sup>はツルア  
ジサイ、イワガラミ、ノリウ  
ツギ等の葉<sup>めいりよう</sup>を食べる。成虫<sup>せい</sup>は  
白地に明瞭な黒まだら模様<sup>もよう</sup>の  
あるシャクガの仲間<sup>ちゅう</sup>。個体<sup>こたい</sup>に  
より斑紋<sup>はんもん</sup>の変異<sup>へんい</sup>が大きい。

# 138 ウスキツバメエダシャク チョウ目シャクガ科

開張♂36～48 ♀46～59mm

10月中



2020年10月12日

作業棟<sup>どう</sup>の明かり<sup>めかり</sup>に飛来<sup>ひらい</sup>。幼虫<sup>よう</sup>  
は様々な樹木<sup>じゅもく</sup>の葉を食べる。  
成虫<sup>せい</sup>は白地に薄<sup>うす</sup>い黒線がある。

# 139 コシロオビアオシャク

チョウ目シャクガ科

開張43~48mm

6月中



2020年6月14日

作業棟<sup>どう</sup>から駐車場間で見られる緑色が美しいガ。翅<sup>はね</sup>はやや厚<sup>あつ</sup>い。幼虫<sup>よう</sup>はコナラやミズナラなどの葉を食べる。

# 140 コヨツメアオシャク

チョウ目シャクガ科

開張15~22mm

10月中



2020年10月14日

作業棟<sup>どう</sup>の灯火<sup>とうか</sup>に飛来する翅表<sup>はね</sup>の4つの茶色い点が目立つシャクガの仲間。幼虫<sup>よう</sup>はバラ科、リョウブ科、ウコギ科、ツツジ科などの葉を食べる。

# 141 ヒメノコメエダシャク

チョウ目シャクガ科

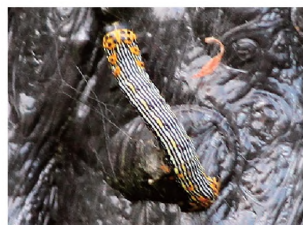
開張♂48～53 ♀47～50mm

10月中～11月上



2019年10月27日

作業棟の明かりに飛来。幼虫は広食性で様々な広葉樹の葉を食べる。成虫は秋に出現。腹が曲がっているのが特徴。



幼虫 2020年5月18日

# 142 クロスジフユエダシャク

チョウ目シャクガ科

開張24～30mm

11月中～11月下



♂ 2019年11月26日

晩秋に林内を日中飛び回り灯火にも来るフユシャクの仲間。幼虫はコナラ、ミズナラ、クリ等の葉を食べる。フユシャクの仲間の♀は翅が退化し飛べない。



翅が退化した♀ (本種かは不明)  
2019年11月30日



# 143 チャバネフユエダシャク チョウ目シャクガ科

開張36~45mm

11月下



♂ 2019年11月26日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来。秋から冬にかけて現れる「フユシャク」の仲間。♀は翅<sup>はね</sup>が退化。コナラやクヌギ、ツツジなどの葉を食べる。



幼虫 2020年5月24日

# 144 クヌギカレハ ⚠️注意

開張60~100mm

## チョウ目カレハガ科

10月中~10月下



♂ 2019年10月19日



♀ 2019年10月21日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに集まるカレハガの仲間。幼虫<sup>ようちゅう</sup>はクヌギ、コナラ、クリ、アカシデ、リンゴ、ハンノキ等<sup>かつ</sup>の葉を食べる。成虫オスは茶褐色<sup>たん</sup>だが、成虫メスは淡褐色。成虫には毒<sup>どく</sup>はないが、幼虫は毒針がある。

# 145 ウスタビガ

開張90~100mm

## チョウ目ヤママユガ科

10月下~11月上



♂ 2019年11月8日

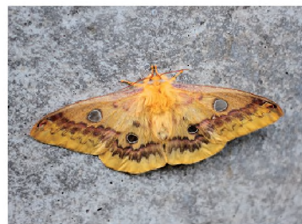


繭 2019年12月19日



幼虫 2019年6月25日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来。幼虫<sup>よう</sup>はクリ、クヌギ、コナラ、エノキ、サクラなどの葉を食<sup>が</sup>べる。成虫の翅表に波型の茶褐色<sup>はね</sup>の帯があり、4枚の翅それぞれに半透明の丸紋<sup>めん</sup>がある。



♀ 2019年10月31日

# 146 ヒメヤママユ

開張♂90 ♀100mm

## チョウ目ヤママユガ科

10月下



2019年10月28日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来。幼虫<sup>よう</sup>はサクラ、ナシ、ウメ、スモモ、クリ、コナラ、クヌギ、ケヤキ、エゴノキ、ミズキ等の葉を食<sup>が</sup>べる。成虫は秋深<sup>はね</sup>くに出現。オリーブ色の翅を持つ大型の蛾。4枚の翅それぞれ目玉模様<sup>もよう</sup>を持つ。

## 147 クチバスズメ

開張95～115mm

## チョウ目スズメガ科

7月中～8月上



2019年8月6日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来する大型のスズメガの仲間。建物内のラジオ<sup>よう</sup>に止まっていた。幼虫はクリ、コナラ、クヌギ等の葉を食べる。

## 148 クロスバホウシャク

開張45～55mm

## チョウ目スズメガ科

5月中



2020年5月12日

作業棟<sup>どう</sup>下のツツジ<sup>しよくさい</sup>植栽木で見られる。幼虫<sup>よう</sup>はタニウツギ等を食べる。成虫の翅<sup>はね</sup>は透明<sup>とうめい</sup>で黒の縁取りがある。蜜<sup>みつ</sup>をホバリングしながら吸<sup>す</sup>うが、ハチドリと間違<sup>まちが</sup>えられることもある。



同左 後翅根元が透明なのが類似種との違い



# 149 ムクツマキシヤチホコ チョウ目シャチホコガ科

開張50～67mm

7月下～8月上



2019年8月9日

作業棟の明かりに飛来。幼虫はムクノキ、アキニレなどの葉を食べる。成虫は翅をまるめて木の枝に擬態しているといわれる。

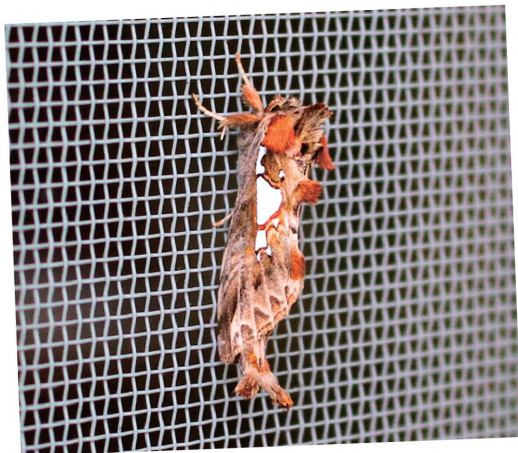


2020年7月21日

# 150 ウスイロギンモンシャチホコ チョウ目シャチホコガ科

開張36～41mm

6月下、8月上



側面 2020年6月29日

作業棟の明かりに飛来。幼虫クヌギ、コナラ、ミズナラ等を食べる。成虫の形は特徴的で全体が茶褐色だが中央に三角形の白色紋がある。



同左 正面

# 151 キアシドクガ

開張50～57mm

チョウ目ドクガ科

6月上



2019年6月7日

2019年6月上旬にイベント  
広場周辺のミズキで大発生し  
たドクガの仲間。幼虫はミズ  
キ、クマノミズキの葉を食べ  
る。ドクガ科であるが、幼虫  
から成虫まで毒はない。

# 152 チャドクガ ⚠️注意

開張♂25 ♀28～35mm

チョウ目ドクガ科

7月下～8月上



2020年7月20日

作業棟窓ガラスに付着してい  
る個体を撮影した。幼虫はツ  
バキ、サザンカなどを食べる。  
幼虫・成虫とも毒針を持ち人  
に危害を加えることが多いド  
クガ。

## 153 カノコガ

開張30～37mm

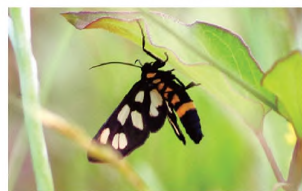
## チョウ目ヒトリガ科

6月上～6月中



2019年6月20日

沢田のビオトープから田んぼ  
周辺で見られる。幼虫はシロ  
ツメクサ、スギナ、ギシギシ、  
タンポポ等を食べる。成虫は  
黒地に白紋がちりばめられた  
細目の翅を持つ。日中に活動  
し、いろいろな花蜜を吸う。



背面 2020年6月7日

## 154 スジベニコケガ

開張32～40mm

## チョウ目ヒトリガ科

8月上



2019年8月9日

作業棟の明かりに飛来。幼虫  
はコケ類、落葉などを食べる。  
成虫は黄色地にオレンジ色の  
細かい筋模様を持つ。表翅に  
濃褐色のV字模様が数カ所  
にある。



# 155 マメキシタバ

開張46~48mm

## チョウ目ヤガ科

6月上~7月上、8月下~9月下



2020年6月7日

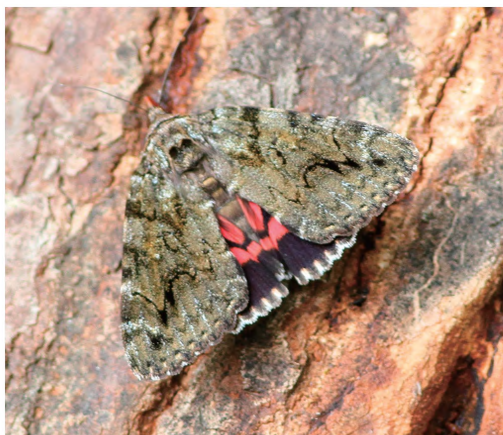
作業棟<sup>とう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間のコナラ<sup>じゅ</sup>の樹液<sup>じゅ</sup>に集まる。幼虫<sup>よう</sup>はクヌギ、ミズナラの葉<sup>うしろばね</sup>を食べる。成虫<sup>せい</sup>の後翅<sup>こうし</sup>は普段は見えないが前翅<sup>ぜんし</sup>を開くと黄色<sup>しまちよう</sup>と黒色の縞模様が現れる。

# 156 オニベニシタバ

開張56~68mm

## チョウ目ヤガ科

6月上、7月上~8月下



2020年7月10日

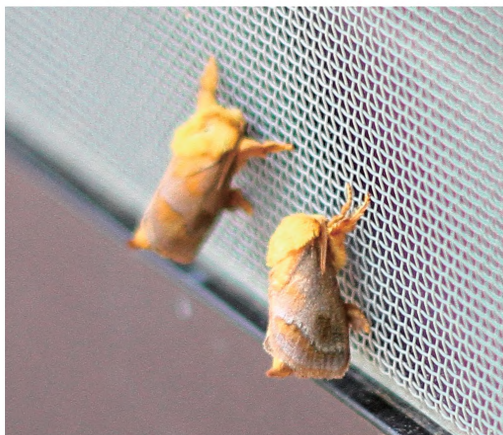
作業棟<sup>とう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間のコナラ<sup>じゅ</sup>の樹液<sup>じゅ</sup>によく集まっている。幼虫<sup>よう</sup>はクヌギ、コナラ、ミズナラ等の葉<sup>うしろばね</sup>を食べる。前翅<sup>ぜんし</sup>は濃褐色<sup>のうかつ</sup>地に白色<sup>しろ</sup>や淡褐色<sup>たん</sup>の帯や紋<sup>もん</sup>が複雑<sup>ふくざつ</sup>に入る。前翅<sup>ぜんし</sup>を広げると後翅<sup>こうし</sup>の鮮やかな朱色<sup>しゆ</sup>と2本の黒帯が現れる。

# 157 ナシイラガ ⚠注意

チョウ目イラガ科

開張30～35mm

8月上



2019年8月6日

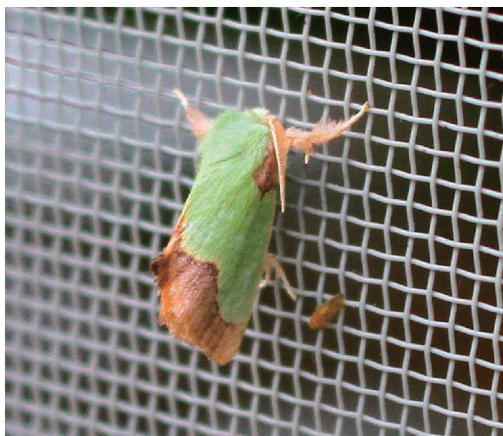
作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来<sup>よう</sup>。幼虫はクヌギ、カキ、ソメイヨシノ、クリ、ケヤキ等の葉を食べる。成虫は黄褐色<sup>かつ</sup>～灰褐色<sup>はい</sup>の翅<sup>はね</sup>を丸めた奇妙な形<sup>きみょう</sup>をしている。イラガ科の幼虫はほとんどの種が毒針<sup>どく</sup>を持つので注意が必要。

# 158 クロシタアオイラガ ⚠注意

チョウ目イラガ科

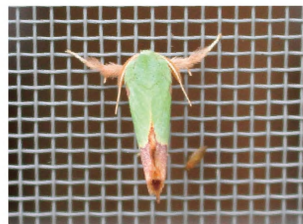
開張♂22～27 ♀28～32mm

7月上



2020年7月3日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来する緑色のイラガの仲間<sup>よう</sup>。幼虫はブナ科やバラ科<sup>せえばね</sup>等の葉を食べる。成虫の前翅<sup>せみばね</sup>下の黒色部<sup>じょう</sup>が緑地にくの字状に食い込む。



同左 正面

## 159 マダラミズメイガ

開張25~35mm

チョウ目ツトガ科

5月中~7月上



2019年6月1日

さわ  
沢田のビオトープで見られ  
る。幼虫はスイレン、ヒツジ  
グサ、コウホネを食べる。類  
似種のカロスジマダラミズ  
メイガとは黒線の通過箇所の違  
いで見分けるが見分けは難し  
い。

## 160 トリバガの仲間

チョウ目トリバガ科



2020年6月12日

作業棟の明かりに飛来する奇  
妙な形のガ。見分けるのは難  
しい。



ヒルガオトリバ？  
2020年10月18日

2019年7月20日



# 昆虫

その他

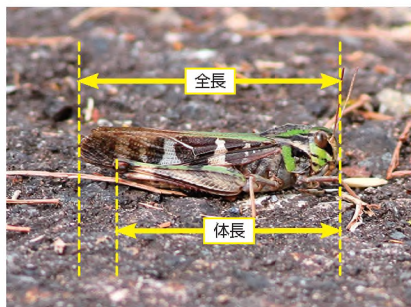




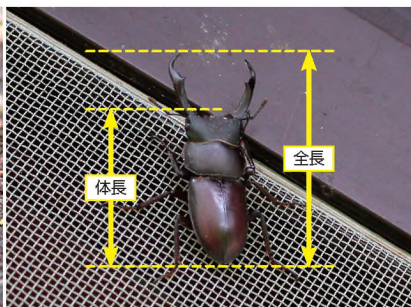
ノコギリカミキリ



ニイニイゼミ



クルマバッタ



コクワガタ

## 掲載順及び大きさ

『ポケット図鑑日本の昆虫 1400 (株式会社 文一総合出版)』から準拠・引用したが、掲載順は見やすいように順番を変えた。この本の未掲載種については『学研の図鑑 LIVE 昆虫 (株式会社 学研教育出版)』の値を参照した。

## 杉沢の森の昆虫相について

トビゲラ、コウチュウ、カメムシ、シリアゲムシ、ハチ、ハエ、カミキリ、バッタ、各目について計60種記載した。杉沢の森昆虫相は非常にバラエティーに富んでいる。

## 161 ムラサキトビゲラ

前翅長40～44mm

トビゲラ目トビゲラ科

10月上



2019年10月10日

作業棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間のコナラ林で見られる。山地<sup>けい</sup>溪流に生息する日本最大のトビゲラ。灯火<sup>とうか</sup>にも飛来する。

## 162 ヨツメトビゲラ

前翅長16～25mm

トビゲラ目フトヒゲトビゲラ科

5月下～6月上



2019年6月4日

作業棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ間のコナラ林で見られる。前<sup>まえ</sup>翅<sup>へ</sup>後に白、黄、灰色の斑紋<sup>はんもん</sup>がある個体と全く斑紋<sup>はんもん</sup>のない個体<sup>けい</sup>がいる。成虫は昼間に溪流<sup>せいりゅう</sup>沿いを飛翔する。



## 163 マガタマハンミョウ

## コウチュウ目オサムシ科

体長14~15mm

4月下~6月上



2019年4月28日

コナラ林の歩道上で見られる。<sup>まえばね</sup>前翅に<sup>まがたま</sup>勾玉のような<sup>もよう</sup>模様がある。<sup>うしろばね</sup>後翅は退化して飛ぶことができない。

## 164 ニワハンミョウ

## コウチュウ目オサムシ科

体長15~19mm

6月上



2019年6月1日

<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ周辺の砂利<sup>じき</sup>敷車道で見られる。他種よりも<sup>かんそう</sup>乾燥地を好む。<sup>まえばね</sup>前翅の小白<sup>ちん</sup>紋は<sup>こ</sup>個体差が大きい。

## 165 アオカタビロオサムシ ⚠️注意 コウチュウ目オサムシ科

体長18~25mm

5月中~5月下



2019年5月24日

杉沢の森<sup>ちゅう</sup>駐車場脇<sup>わき</sup>のコナラ林内で見られる。ガ<sup>よう</sup>の幼虫などを食べる。他種は飛べないが本種は飛ぶことができる。刺激すると腹部<sup>ふく</sup>の先から臭<sup>くさ</sup>い液体を出し皮膚に触れると炎症を起こすので注意が必要。

## 166 センチコガネ コウチュウ目センチコガネ科

体長14~20mm

7月下~11月下



2020年8月4日

コナラ林歩道上や作業棟<sup>とう</sup>周辺で見られる。地表面を走行し、動物<sup>ふん</sup>の糞、落下した果実、腐<sup>くさ</sup>った植物などに集まる。しばしば飛翔<sup>ひしょう</sup>し、明かりにも飛来する。



2019年7月24日

## 167 ヒメコガネ

体長12.5～16.5 mm

## コウチュウ目コガネムシ科

8月上



2019年8月9日

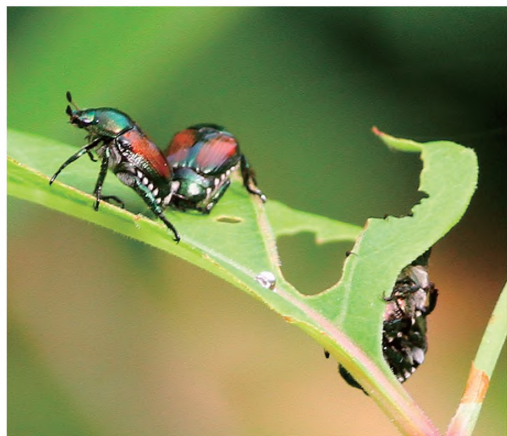
作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来する小型のコガネムシ。背面は金属<sup>きんぞく</sup>光沢<sup>こうたく</sup>があり、緑、銅、青藍色など個体によって変化する。

## 168 マメコガネ

体長9～13mm

## コウチュウ目コガネムシ科

7月上～7月中



2020年7月3日

イベント広場草地や田んぼ周辺などで見られ個体数も多い。マメ類をはじめイタドリやヤナギやブドウなどの葉を食べる害虫。1920年代に北アメリカに侵入し大繁殖<sup>はんしよく</sup>して葉を食害し、大きな被害<sup>ひ</sup>をもたらしたことで知られる。



## 169 セマダラコガネ

体長 8～13.5 mm

## コウチュウ目コガネムシ科

7月上～7月下



2020年7月3日

作業棟<sup>どう</sup>や沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ周  
辺で見られた。前翅<sup>まえばね</sup>の黒色模  
様<sup>よう</sup>には個体差<sup>こたいさ</sup>がありまだら  
様<sup>よう</sup>から黒色<sup>くろ</sup>まで様々<sup>ようが</sup>。灯火<sup>とうが</sup>  
にも来る。



2020年7月27日

## 170 カナブン

体長 22～30 mm

## コウチュウ目コガネムシ科

7月上～8月上



2019年8月1日

作業棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ  
間<sup>ま</sup>などの歩道脇<sup>わき</sup>のコナラ<sup>じゅ</sup>樹液  
に集まり個体数<sup>こたいすう</sup>も多い。背面  
は金属<sup>きんぞく</sup>光沢<sup>こうたく</sup>がある赤銅色<sup>せきどうしき</sup>で、  
緑色<sup>りょくしき</sup>味<sup>あじ</sup>がかかる個体<sup>こたい</sup>もある。



2020年5月16日

イベント広場周辺のハルジオンなどの花に集まる。青色のハナムグリは何種類かいるが背面全体に毛が生えていることからコアオハナムグリと思われる。

## 172 コクワガタ

## コウチュウ目クワガタムシ科

体長♂17~54 ♀22~33mm

6月下~9月中



♂大型個体 2020年7月3日

コナラ林などの樹液じゅくに集まるが、作業棟とうの明かりにも飛来する。大きさに合わせアゴの形が変化する。



♂小型個体 2019年9月6日

## 173 スジクワガタ

体長♂15~40 ♀14~24mm

## コウチュウ目クワガタムシ科

6月下旬~9月中



2020年6月23日

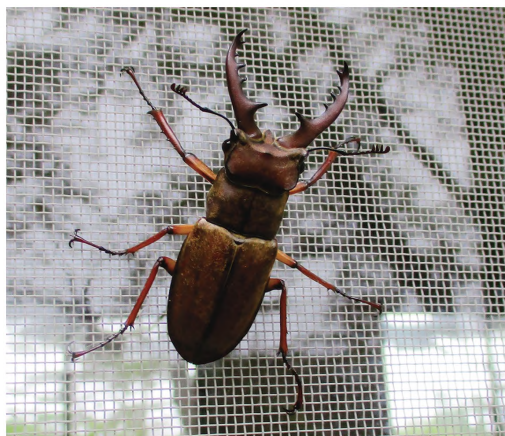
管理棟<sup>どう</sup>から沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ  
間のコナラの樹液<sup>じゅ</sup>に集まる。  
大きさによりアゴの形状<sup>じょう</sup>や前  
翅<sup>まえ</sup>のスジが変わる。

## 174 ミヤマクワガタ

体長♂30~79 ♀25~45mm

## コウチュウ目クワガタムシ科

7月上旬~7月下旬



♂ 2020年7月14日

作業棟<sup>どう</sup>の明かりに飛来。樹液<sup>じゅ</sup>  
にも集まる。当地ではコクワ  
ガタより少ない。♀の足の付  
け根は茶色い。



♀ 2020年7月9日



## 175 オバボタル

体長7～12mm

## コウチュウ目ホタル科

6月上～6月下、9月上



2020年6月7日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見ら  
れる。光らないホタル<sup>しよつ</sup>。  
触覚<sup>へんべい</sup>は扁平で帚状<sup>じよう</sup>。前胸の赤い部  
分は黒く縁取られている。

## 176 ジョウカイボン

体長14～18mm

## コウチュウ目ジョウカイボン科

5月下



2019年5月27日

林内の葉の上やイベント広場  
の葉上で見られる。<sup>はね</sup>翅が茶褐  
色<sup>とくちやう</sup>で特徴があるが、時に黒化  
<sup>あいにじ</sup>して類似種との識別が困難な  
個体も出現する。

## 177 アオジョウカイ

## コウチュウ目ジョウカイボン科

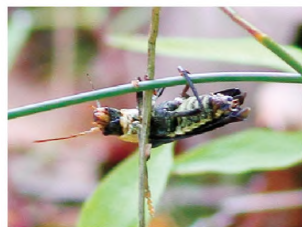
体長14～20mm

5月下



2020年5月26日

ムジナ湯から沢田のビオトープ間の歩道上で見られる。翅は鈍い光沢のある青紫色。葉の上で小昆虫を捕食する。



同左背面

## 178 ヨツボシオオキスイ

## コウチュウ目オオキスイムシ科

体長11～15mm

8月上～8月中



2019年8月5日

作業棟から沢田のビオトープ間のコナラ樹液に集まる。カナブンなどと一緒にいることが多いが小さく目立たない。

## 179 ナナホシテントウ コウチュウ目テントウムシ科

体長5.0～8.6mm

6月中



2020年6月14日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。頭と胸は黒色。翅は赤色で7つの黒点がある。テントウムシという、このイメージ。成虫・幼虫ともにアブラムシを食べる。

## 180 ナミテントウ コウチュウ目テントウムシ科

体長4.7～8.2mm

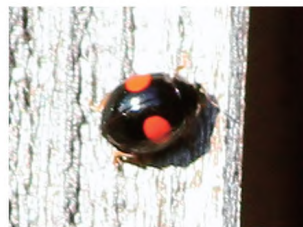
コウチュウ目テントウムシ科

11月下



四紋型 2019年11月23日

どうかべ  
作業棟壁などの日だまりでひなたぼっこをしているテントウムシで、普通に見られる。翅の模様は様々で、大きく4型(二紋型、四紋型、紋型、紅型)に分けられる。



二紋型 2019年11月23日



# 181 マルクビツチハンミョウ ⚠注意 コウチュウ目ツチハンミョウ科

体長12~30mm

4月中~4月下



触角の肥大部分がないのが特徴 2019年4月28日

春に日当たりのよい歩道上で歩く姿を見かける。似た種類とは触角の肥大の有無で見分ける。捕まえると黄色い液を出す。これはカンタリジンという有毒物質を含むので注意。



同個体触角拡大

# 182 キマワリ

体長16~20mm

## コウチュウ目ゴミムシダマシ科

7月上



2019年7月6日

コナラ林内や作業棟<sup>とう</sup>周辺で見られる。日中樹皮<sup>じゅ</sup>の上を活発に歩き回る。♂の体型は細長く、♀はやや幅広い。

# 183 ゴマダラカミキリ コウチュウ目カミキリムシ科

体長25～35mm

8月上



2019年8月6日

駐車場脇の切り株で見られる。よく飛ぶが、明かりにはほとんど集まらない。体は光沢のある黒色で、前翅に白～黄色の小紋が散らばる。

# 184 ノコギリカミキリ コウチュウ目カミキリムシ科

体長23～48mm

7月中



2020年7月17日

コナラ林内で見られる。明かりにも飛来する。体は黒色～黒褐色で、触角は鋸状となる。後脚を前翅の縁にこすって音を出す。

# 185 クワカミキリ

## コウチュウ目カミキリムシ科

体長32~45mm

8月上



2019年8月6日

作業棟<sup>とう</sup>建物内で見られた。クワやイチジクなどの害虫として知られるが、ブナ王<sup>みぎ</sup>の幹の小穴も本種が開けたもの。触覚は白黒のまだら模様で上翅<sup>じょうし</sup>の基部<sup>きふ</sup>周辺に小さなこぶ状<sup>こぶじょう</sup>の隆起<sup>りゅうき</sup>が多数ある。

# 186 ミヤマカミキリ

## コウチュウ目カミキリムシ科

体長32~57mm

7月下



2020年7月22日

作業棟<sup>とう</sup>の灯火<sup>とうか</sup>に飛来した。クワカミキリに似るが、触角<sup>しやうかく</sup>が長く白色部分がないことと、前翅<sup>まえばね</sup>前方にこぶ状<sup>こぶじょう</sup>の隆起<sup>りゅうき</sup>がないことで見分ける。



## 187 ヨモギハムシ

体長7～10mm

## コウチュウ目ハムシ科

6月中、10月中



2019年6月15日

田んぼ周辺で見られる。ヨモギの葉の上に集まる。体は金銅色と青藍色があり、個体差がある。

## 188 オオゾウムシ

体長12～29mm

## コウチュウ目オサゾウムシ科

5月中



2019年5月13日

ムジナ淵やブナ王近くの歩道で見られた。ゾウのように長い鼻があるように見える。幼虫は樹木の枯れ木を食べる。2cm ほどもある大型のゾウムシ。

## 189 ツマグロオオヨコバイ カメムシ目ヨコバイ科

全長13mm

11月下



2019年11月23日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。大型のヨコバイで、体色がバナナに似ているため「バナナムシ」という愛称で親しまれている。様々な植物の葉裏にとまり汁を吸う。

## 190 アオバハゴロモ カメムシ目アオバハゴロモ科

全長9～11mm

10月上



2020年10月9日

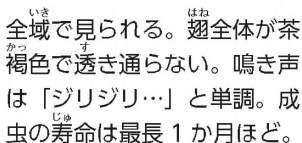
しょう  
は  
作業棟建物に張り付いていた。ハゴロモという名は幼虫が白い粉を身にまとうことからきている。

体長53~60mm

7月中～9月上



2019年9月7日



羽化 2019年7月13日

体長32~40mm

7月上～8月上



2019年7月17日

全域で見られる。ハルゼミのあとで一番早く鳴き始めるセミ。鳴き声は抑揚のある「チー—」で長く鳴き続ける。



# 193 ヒグラシ

体長41～50mm

カメムシ目セミ科

7月下旬～8月上旬



2019年8月4日

全域で見られる。朝方や夕方などで薄暗い時に「カナカナカナ…」と鳴く。

# 194 ハルゼミ

SAVE 準絶滅危惧種

体長32～36mm

カメムシ目セミ科

5月上旬～5月中



2019年5月10日

作業棟近くのマツ林で5月中旬に見られる。横枝の細い箇所<sup>かしよ</sup>に止まっていたりするので姿を探すのは非常に困難<sup>ひじょう こんなん</sup>。鳴き声は「ムゼー、ムゼー、…ギー」1羽<sup>ひと</sup>が鳴きだすと複数で鳴き交わす。

## 195 マツモムシ

体長11～14mm

## カメムシ目マツモムシ科

10月中



2020年10月18日

さわ  
沢田のビオトープで見られ  
る。水面で腹を<sup>はら</sup>上にして長い  
後足をオールのようにして泳  
ぐ。

## 196 アオクチブトカメムシ

体長18～23mm

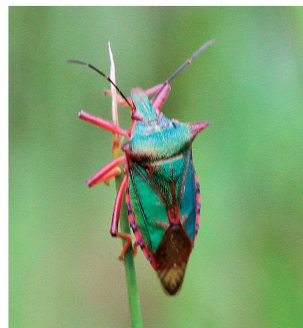
## カメムシ目カメムシ科

7月上～7月下



2020年7月6日

さわ  
沢田のビオトープ周辺の草地  
や作業<sup>とう</sup>棟で見られる。金緑色  
に<sup>かがや</sup>輝く美しいカメムシ。



2019年7月12日

## 197 エサキモンキツノカメムシ カメムシ目ツノカメムシ科

体長11～13mm

11月上



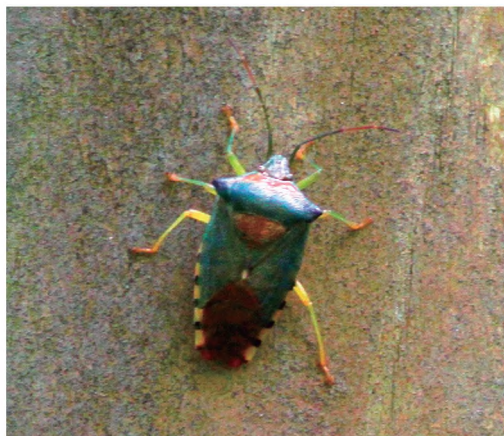
2019年11月7日

作業棟水場のコンクリート壁で見られた。体は黄緑色味を帯びた褐色。体中央にハート型の白紋がある。1cm程度の小型のカメムシなので目立たない。メス成虫には卵や幼虫を保護する習性がある。

## 198 セアカツノカメムシ カメムシ目ツノカメムシ科

体長14～19mm

6月下



2019年6月25日

杉林内の案内標柱に止まっていた。前胸背両側の張り出しがあり背の一部が赤いことからセアカツノカメムシと呼ばれる。

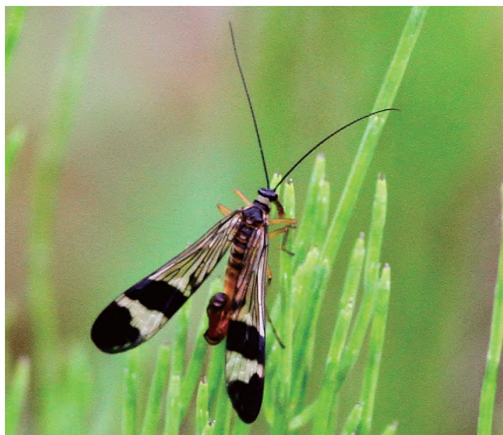


## 199 ヤマトシリアゲ

## シリアゲムシ目シリアゲムシ科

前翅長13～20mm

5月上～5月中



2019年5月11日

全域で見られた。腹をそり上げていることが「尻あげ虫」という名の由来。

## 200 プライアシリアゲ

## シリアゲムシ目シリアゲムシ科

前翅長13～18mm

5月上～5月中



2019年5月8日

全域で見られる。ヤマトシリアゲとは翅の模様が違う。やや標高の高いところに生息する。

## 201 ムネアカオオアリ

ハチ目アリ科

体長 8～12mm

5月上



2020年5月2日

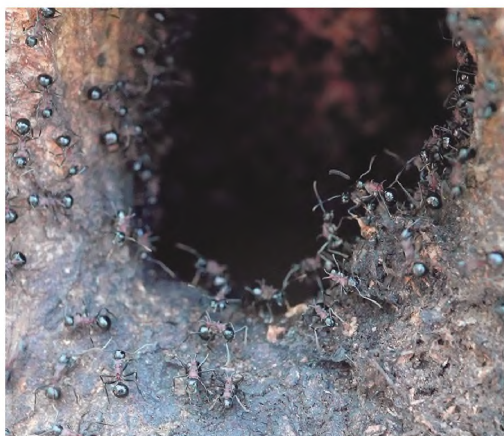
コナラ林内で見られる森林性の大型のアリ。樹液にも来る。胸と腹の前方は赤褐色。朽ち木に営巣する

## 202 トゲアリ

ハチ目アリ科

体長 8～12mm

5月下、8月上

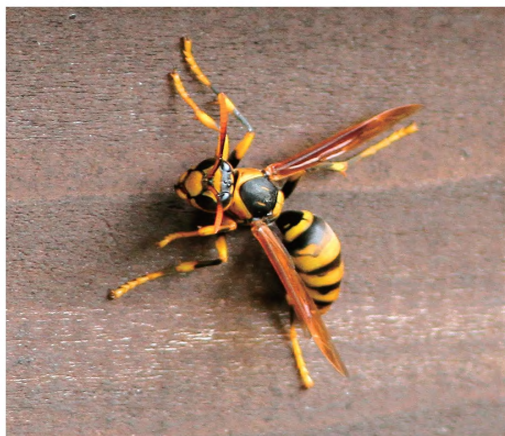


樹洞の巣 2019年8月6日

コナラ林で見られる森林性の大型アリ。ムネアカオオアリとほぼ同大だが胸にトゲがある。本種の新女王アリは他のアリの巣に侵入し、その巣の女王アリの殺して巣を乗っ取る。



蛾の幼虫を捕らえた  
2020年5月24日

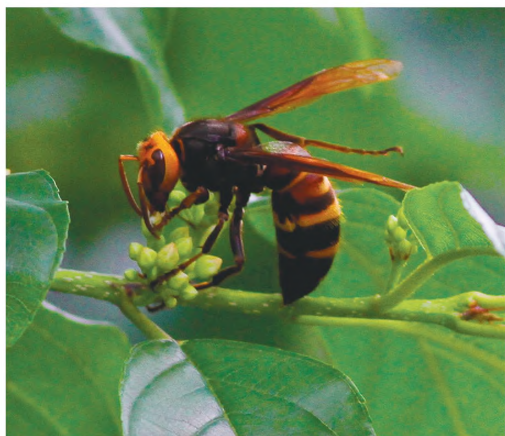


2019年6月23日

作業棟や沢田のビオトープ周辺で見られた。樹液に集まり、木の枝などに下向きの巣を作る。不用意に近づくと刺されるので注意。

体長25～33mm

6月下



2019年6月25日

イベント広場周辺で見られる。腹部の黄黒斑の先端が黒色なのは本種のみ。スズメバチの中では比較的温和な性質と言われる。



同左 飛翔



## 205 オオスズメバチ ⚠️注意

体長27～38mm

## ハチ目スズメバチ科

5月上～5月下



2020年5月7日

コナラ林の<sup>じゅ</sup>樹液に集まる。スズメバチの仲間では世界最大級で極めて攻撃性が高い。毒針に刺された場合は命に関わることも。コガタスズメバチに似るが顔正面の突出部数で見分ける。



同左 突出部が2つ

## 206 モンスズメバチ ⚠️注意

体長19～24mm

## ハチ目スズメバチ科

5月上～6月中



2020年5月8日

コナラ<sup>じゅ</sup>樹液に集まる。単眼<sup>がん</sup>周辺が黒色でキロスズメバチに似るが胸部後ろが茶褐色<sup>きようかつ</sup>であることで見分ける。



同左



2019年7月10日

作業棟<sup>とう</sup>や沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ周  
辺で見られる。腹<sup>はら</sup>の一部が細  
い独特<sup>どくとく</sup>の形をしている。地中<sup>ちちゅう</sup>  
や竹筒<sup>ちくちゅう</sup>などに巣を作る。

## 208 ルリチュウレンジ

体長8～10mm

## ハチ目ミフシハバチ科

6月上



2019年6月1日

コナラ林内で見られる。幼虫<sup>ようちゅう</sup>  
はツツジ科の植物を食べる。  
はね<sup>はね</sup>翅<sup>てい</sup>全体が暗色。

## 209 シオヤアブ

体長22～30mm

## ハエ目ムシヒキアブ科

7月中～8月上



2019年7月13日

イベント広場周辺の草地や林縁などに見られるアブ。コウチュウ目やハチ目等の昆虫を好んで食べる。

## 210 ビロウドツリアブ

体長7～11mm

## ハエ目ツリアブ科

4月下



2019年4月28日

作業棟や歩道周辺で春先にホバリングして花蜜を吸う姿を見かける。



同左 ホバリング





2020年10月9日

さわ 沢田のビオトープ周辺の林縁<sup>りんえん</sup>やその付近の草地に生息。大きな葉の上や花の近くで獲物<sup>え</sup>を待ち伏せしている。オオカマキリと記載したが、似た種にチョウセンカマキリがいるが、後ろ翅<sup>はね</sup>を広げないと見分けられない。

## 212 ハラビロカマキリ

SAVE 準絶滅危惧種

カマキリ目カマキリ科

全長45~68mm

10月上



緑色型 2020年10月9日

作業棟<sup>どう</sup>周辺で見られる。建物の壁<sup>かべ</sup>や植物の上で獲物<sup>え</sup>を待ち構える。翅<sup>はね</sup>に小さな白点があり、前足基部に突起が3つほどあるのが特徴。緑色・褐色型がある。



褐色型 2020年10月6日

## 213 トノサマバッタ

全長35～65mm

バッタ目バッタ科

6月下、8月下～10月上



緑型 2019年6月24日

さわ  
沢田のビオトープやイベント  
広場周辺の草地で見られる。  
体色は緑型と褐色型がある。



暗色型 2020年8月21日

## 214 クルマバッタ

全長35～65mm

バッタ目バッタ科

8月下、10月上～10月中



緑色個体 2020年10月18日

さわ  
沢田のビオトープやイベント  
広場周辺の草地で見られる。  
胸背面は丸くふくらむ。緑色  
個体と褐色個体が見られる。  
後翅に輪状の褐色帯がある。



褐色個体 2020年10月18日

## 215 ハネナガイナゴ

全長17~45mm

バッタ目バッタ科

9月上



2020年9月1日

さわ  
沢田のビオトープやイベント  
広場周辺の草地で見られるイ  
ナゴ。まえばね ふくたん  
類いじ  
似種のコバネイナゴにも腹  
端の長い翅の個体が出現する  
がみは腹端背面、♀は腹下面  
のトゲ等で見分ける。

## 216 マダラバッタ

全長26~35mm

バッタ目バッタ科

8月上



2020年8月10日

とう  
作業棟周辺の草地で見られ  
る。体色は緑色や褐色、赤み  
がかかる個体など様々。後足の  
青色と赤色のコントラストが  
美しい。



## 217 ケラ

体長30～35mm

## バッタ目ケラ科

10月上



2020年10月6日

作業棟<sup>どう</sup>周辺で見られる。前足<sup>ほ</sup>が土を掘るために特化している。水の上を泳ぐことも、飛ぶこともでき、灯火<sup>とうか</sup>に飛来する。鳴き声は「ブー—」と聞こえる。

## 218 コオロギの仲間

## バッタ目コオロギ科



丸顔で翅が短いフチキコオロギ？ 2020年7月31日

沢田<sup>さわ</sup>のビオトープやイベント広場周辺の草地で見られる。顔の形などで見分けるが、見分けは難しい。



顔が平たいのでオカメコオロギ？  
2019年11月7日



2019年6月12日

沢田のビオトープから下の田んぼ周辺で見られた。<sup>はね</sup>翅がないのでコバネヒメギスと思われる。



2019年10月23日

作業棟や沢田のビオトープ、イベント広場周辺で見られる。足の色が淡色なのでアシグロツユムシでなくツユムシ？

# 両生類 ・ は虫類







ヤマアカガエル



ニホンカナヘビ

### 大きさ

大きさは『ポケット図鑑日本の爬虫両生類 157 (株式会社 文一総合出版)』から引用し、繁殖期の記載もここから引用した。文章は『里山ガイドシリーズ (特定非営利活動法人 越の里山倶楽部)』によるところが多い。

### 杉沢の森の両生類・は虫類相について

今回の2年間(H元～2年度)の調査で、特定外来種であるウシガエル以外は12種すべて掲載した。なお前回(H16年度)の調査で確認できたが今回の調査で見れなかった種は両生類ではトノサマガエル、トウホクサンショウウオ。は虫類ではヤマガカシの合計3種である。トノサマガエルが見られなかったのは生態的地位がウシガエルに置き換わってしまったのかもしれない。

### 特定外来種

在来の生物を捕食したり、生態系に害を及ぼす可能性のある外来生物で「特定外来生物被害防止法」に定められているもの。



特定外来種 ウシガエル

## 221 クロサンショウウオ

SAVE 準絶滅危惧種

有尾目サンショウウオ科

全長120～190mm

繁殖期：2～3月



杉沢森の会 北村信行さん提供

2014年4月2日

取水池付近で見られる。普段は落ち葉の下で暮らすのでほとんど目につかない。雪解け後に山間の池中の木の枝などにアケビの実のような卵のかたまりを産み付ける。



卵 2019年4月21日

## 222 アズマヒキガエル

⚠️注意

無尾目ヒキガエル科

体長43～162mm

繁殖期：2～7月



2019年10月19日

沢田のビオトープ周辺の林内で見られる。皮膚は厚く、大小の突起があり白色の毒液を出す。雪解け直後に、水中に細長いひも状の卵のかたまりを産みつける。



ひも状の卵のかたまり  
2019年4月12日

## 223 ニホンアマガエル

体長22~45mm

## 無尾目アマガエル科

繁殖期: 3~7月



緑色個体 2019年8月27日

全域<sup>いき</sup>に出現。指先に吸盤<sup>きゅうばん</sup>を持ち樹上<sup>じゅじょう</sup>にも住む。体色は緑色から灰色など、さまざまに変化<sup>はい</sup>させることができる。目先<sup>めさき</sup>及び鼓膜<sup>こまく</sup>の後方の黒線<sup>くろせん</sup>があることでアオガエル科と見分ける。



灰色個体 2019年4月21日

## 224 ニホンアカガエル

体長34~67mm

## 無尾目アカガエル科

繁殖期: 1~3月



2019年9月3日

沢田<sup>さわ</sup>のビオトープ周辺で見られる。眼から鼓膜<sup>こまく</sup>の上方を通り腰<sup>こし</sup>まで連なる線があるがほぼ直線であり、鼓膜付近で折れ曲がるヤマアカガエルと見分ける。

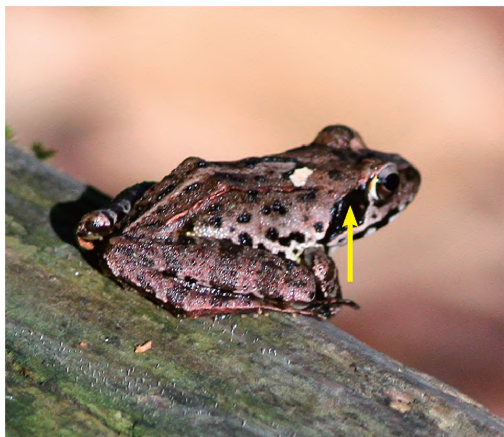


## 225 ヤマアカガエル

体長36～78mm

## 無尾目アカガエル科

繁殖期: 2～6月



2019年9月6日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。ニホンアカガエルと似ているが背側線は鼓膜後方で折れ曲がる。上下の唇からのどに掛けて、黒色の斑紋を持つことが多い。雪解け後の池などに、透明な寒天質に包まれた卵のかたまりを産みつける。

## 226 ツチガエル

体長37～53mm

## 無尾目アマガエル科

繁殖期: 5～9月



2019年6月21日

さわ  
沢田のビオトープ周辺で見られる。体色は茶褐色で、皮膚にイボ状の隆起があり、「イボガエル」と呼ばれる。イボからくさい汁を分泌するが毒は無い。

体長42～82mm

繁殖期: 4～7月



2019年6月4日

水上の卵のかたまり  
2019年6月6日

ムジナ淵から取水池周辺で見られる。<sup>じゆじよう</sup>樹上性のカエルで指先に<sup>きゆうばん</sup>吸盤を持つ。眼まわりの色は<sup>だいだい</sup>橙色。水面に張り出した木の枝に<sup>たまご</sup>白い泡状の卵のか

たまりを産みつける。泡の中で<sup>ふ</sup>孵化したオタマジャクシは水中に落下する。

## 228 シュレーゲルアオガエル 無尾目アオガエル科

体長30～55mm

繁殖期: 2～8月



2019年7月8日

作業棟から<sup>さわ</sup>沢田のビオトープ間で見られる<sup>じゆじよう</sup>樹上性のカエルで<sup>きゆうばん</sup>吸盤が発達する。モリアオガエルと良く似ているが、一回り小さく、眼周りの色は明るい金色。ニホンアマガエルは鼻先から眼後ろまで黒線がある。



モリアオガエル ニホンアマガエル

## 229 ニホントカゲ

全長200～250mm 頭胴長60～96mm

## 有鱗目トカゲ科

繁殖期：4～6月



2019年4月28日

作業棟下の舗装道路法面付近で見られる。石垣等を好む。ニホンカナヘビに比べると尻尾が短い。若い個体はコバルトブルーの体に5本の黄白色の線が入りきれい。成熟個体の体色は明るい茶褐色になる。捕食者に襲われたときに尻尾を切る。

## 230 ニホンカナヘビ

全長160～270mm 頭胴長50～70mm

## 有鱗目カナヘビ科

繁殖期：3～8月



2019年4月28日

コナラ林縁の明るいところで見られる。ニホントカゲに比べて尾が長く、全長の $\frac{2}{3}$ を占める。体は鉄さび色。昆虫類やクモ類などを食べる。



頭部拡大 2020年5月24日



## 231 シマヘビ

全長80～200cm

## 有鱗目ナミヘビ科

繁殖期: 4～8月



2019年4月28日

全域で見られる。明るい褐色の地色に、4本の線がある。カエルやトカゲ、ネズミなどの動物を食べる。



頭部拡大 虹彩は赤褐色  
2020年5月24日

## 232 アオダイショウ

全長110～192cm

## 有鱗目ナミヘビ科

繁殖期: 4～8月



2020年5月18日

全域で見られる。体色はうすい青色。カエルやトカゲ、ネズミなども食べるが、鳥の巣を襲って卵やおそたまごを食べることもある。



虹彩は灰褐色 2019年4月28日

けいさい  
掲載種一覧 (五十音順)

| No.  | 種名            | カテゴリー    | ページ |
|------|---------------|----------|-----|
| ア 57 | アオイトトンボ       | 昆虫 トンボ   | 41  |
| 165  | アオカタビロオサムシ    | 昆虫 その他   | 99  |
| 196  | アオクチブトカメムシ    | 昆虫 その他   | 114 |
| 17   | アオゲラ          | 野鳥       | 19  |
| 9    | アオサギ          | 野鳥       | 15  |
| 56   | アオジ           | 野鳥       | 38  |
| 177  | アオジョウカイ       | 昆虫 その他   | 105 |
| 232  | アオダイショウ       | 両生類・は虫類  | 134 |
| 190  | アオバハゴロモ       | 昆虫 その他   | 111 |
| 16   | アカゲラ          | 野鳥       | 18  |
| 102  | アカシジミ         | 昆虫 チョウ・ガ | 65  |
| 122  | アカタテハ         | 昆虫 チョウ・ガ | 75  |
| 81   | アキアカネ         | 昆虫 トンボ   | 53  |
| 68   | アジアイトトンボ      | 昆虫 トンボ   | 46  |
| 203  | アシナガバチの仲間     | 昆虫 その他   | 118 |
| 222  | アズマヒキガエル      | 両生類・は虫類  | 129 |
| 47   | アトリ           | 野鳥       | 34  |
| 191  | アブラゼミ         | 昆虫 その他   | 112 |
| 61   | アマゴイルリトンボ     | 昆虫 トンボ   | 43  |
| 52   | イカル           | 野鳥       | 36  |
| 133  | イチモンジセセリ      | 昆虫 チョウ・ガ | 81  |
| 117  | イチモンジチョウ      | 昆虫 チョウ・ガ | 73  |
| 29   | ウグイス          | 野鳥       | 25  |
| 150  | ウスイロギンモンシャチホコ | 昆虫 チョウ・ガ | 89  |
| 138  | ウスキツバメエダシャク   | 昆虫 チョウ・ガ | 83  |
| 145  | ウスタビガ         | 昆虫 チョウ・ガ | 87  |
| 51   | ウソ            | 野鳥       | 36  |

|   | No. | 種名            | カテゴリー      | ページ |
|---|-----|---------------|------------|-----|
| ア | 72  | ウチワヤンマ        | ■ 昆虫 トンボ   | 48  |
|   | 99  | ウラギンシジミ       | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 64  |
|   | 114 | ウラギンスジヒョウモン   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 71  |
|   | 112 | ウラギンヒョウモン     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 70  |
|   | 103 | ウラナミアカシジミ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 66  |
|   | 107 | ウラナミシジミ       | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 68  |
|   | 197 | エサキモンキツノカメムシ  | ■ 昆虫 その他   | 115 |
|   | 64  | エゾイトトンボ       | ■ 昆虫 トンボ   | 44  |
|   | 26  | エナガ           | ■ 野鳥       | 23  |
|   | 58  | オオアオイトトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 41  |
|   | 66  | オオイトトンボ       | ■ 昆虫 トンボ   | 45  |
|   | 113 | オオウラギンスジヒョウモン | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 71  |
|   | 211 | オオカマキリの仲間     | ■ 昆虫 その他   | 122 |
|   | 90  | オオシオカラトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 57  |
|   | 205 | オオスズメバチ       | ■ 昆虫 その他   | 119 |
|   | 188 | オオソウムシ        | ■ 昆虫 その他   | 110 |
|   | 134 | オオチャバネセセリ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 81  |
|   | 124 | オオヒカゲ         | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 76  |
|   | 77  | オオヤマトンボ       | ■ 昆虫 トンボ   | 51  |
|   | 40  | オオルリ          | ■ 野鳥       | 30  |
|   | 71  | オオルリボシヤンマ     | ■ 昆虫 トンボ   | 48  |
|   | 3   | オシドリ          | ■ 野鳥       | 12  |
|   | 73  | オナガサナエ        | ■ 昆虫 トンボ   | 49  |
|   | 156 | オニベニシタバ       | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 92  |
|   | 76  | オニヤンマ         | ■ 昆虫 トンボ   | 50  |
|   | 175 | オバボタル         | ■ 昆虫 その他   | 104 |
| カ | 6   | カイツブリ         | ■ 野鳥       | 13  |
|   | 20  | カケス           | ■ 野鳥       | 20  |



| No. | 種名       | カテゴリー    | ページ |
|-----|----------|----------|-----|
| 54  | カシラダカ    | 野鳥       | 37  |
| 170 | カナブン     | 昆虫 その他   | 101 |
| 153 | カノコガ     | 昆虫 チョウ・ガ | 91  |
| 4   | カルガモ     | 野鳥       | 12  |
| 8   | カワウ      | 野鳥       | 14  |
| 1   | カワセミ     | 野鳥       | 11  |
| 49  | カワラヒワ    | 野鳥       | 35  |
| 94  | キアゲハ     | 昆虫 チョウ・ガ | 61  |
| 151 | キアシドクガ   | 昆虫 チョウ・ガ | 90  |
| 63  | キイトンボ    | 昆虫 トンボ   | 44  |
| 2   | キジ       | 野鳥       | 11  |
| 7   | キジバト     | 野鳥       | 14  |
| 44  | キセキレイ    | 野鳥       | 32  |
| 95  | キタキチョウ   | 昆虫 チョウ・ガ | 62  |
| 119 | キタテハ     | 昆虫 チョウ・ガ | 74  |
| 84  | キトンボ     | 昆虫 トンボ   | 54  |
| 43  | キバシリ     | 野鳥       | 32  |
| 39  | キビタキ     | 野鳥       | 30  |
| 93  | ギフチョウ    | 昆虫 チョウ・ガ | 61  |
| 132 | キマダラセセリ  | 昆虫 チョウ・ガ | 80  |
| 182 | キマワリ     | 昆虫 その他   | 107 |
| 219 | キリギリスの仲間 | 昆虫 その他   | 126 |
| 135 | キンモンガ    | 昆虫 チョウ・ガ | 82  |
| 70  | ギンヤンマ    | 昆虫 トンボ   | 47  |
| 123 | クジャクチョウ  | 昆虫 チョウ・ガ | 76  |
| 147 | クチバズメ    | 昆虫 チョウ・ガ | 88  |
| 144 | クヌギカレハ   | 昆虫 チョウ・ガ | 86  |
| 214 | クルマバッタ   | 昆虫 その他   | 123 |

|   | No. | 種名          | カテゴリー      | ページ |
|---|-----|-------------|------------|-----|
| カ | 65  | クロイトトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 45  |
|   | 136 | クロオビシロフタオ   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 82  |
|   | 221 | クロサンショウウオ   | ■ 両生類・は虫類  | 129 |
|   | 158 | クロシタアオイラガ   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 93  |
|   | 148 | クロスキバホウジャク  | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 88  |
|   | 69  | クロスジギンヤンマ   | ■ 昆虫 トンボ   | 47  |
|   | 142 | クロスジフユエダシャク | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 85  |
|   | 33  | クロツグミ       | ■ 野鳥       | 27  |
|   | 125 | クロヒカゲ       | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 77  |
|   | 185 | クワカミキリ      | ■ 昆虫 その他   | 109 |
|   | 217 | ケラ          | ■ 昆虫 その他   | 125 |
|   | 100 | ゴイシシジミ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 64  |
|   | 218 | コオロギの仲間     | ■ 昆虫 その他   | 125 |
|   | 5   | コガモ         | ■ 野鳥       | 13  |
|   | 172 | コクワガタ       | ■ 昆虫 その他   | 102 |
|   | 15  | コゲラ         | ■ 野鳥       | 18  |
|   | 74  | コサナエ        | ■ 昆虫 トンボ   | 49  |
|   | 38  | コサメビタキ      | ■ 野鳥       | 29  |
|   | 85  | コシアキトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 55  |
|   | 139 | コシロオビアオシャク  | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 84  |
|   | 131 | コチャバネセセリ    | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 80  |
|   | 105 | コツバメ        | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 67  |
|   | 82  | コノシメトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 53  |
|   | 183 | ゴマダラカミキリ    | ■ 昆虫 その他   | 108 |
|   | 118 | コミスジ        | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 73  |
|   | 140 | コヨツメアオシャク   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 84  |
| サ | 13  | サシバ         | ■ 野鳥       | 17  |
|   | 18  | サンショウクイ     | ■ 野鳥       | 19  |

| No. | 種名             | カテゴリー    | ページ |
|-----|----------------|----------|-----|
| 88  | シオカラトンボ        | 昆虫 トンボ   | 56  |
| 209 | シオヤアブ          | 昆虫 その他   | 121 |
| 89  | シオヤトンボ         | 昆虫 トンボ   | 57  |
| 207 | ジガバチの仲間        | 昆虫 その他   | 120 |
| 25  | シジウカラ          | 野鳥       | 23  |
| 231 | シマヘビ           | 両生類・は虫類  | 134 |
| 48  | シメ             | 野鳥       | 34  |
| 228 | シュレーゲルアオガエル    | 両生類・は虫類  | 132 |
| 176 | ジョウカイボン        | 昆虫 その他   | 104 |
| 86  | ショウジョウトンボ      | 昆虫 トンボ   | 55  |
| 36  | ジョウビタキ         | 野鳥       | 28  |
| 173 | スジクワガタ         | 昆虫 その他   | 103 |
| 154 | スジベニコケガ        | 昆虫 チョウ・ガ | 91  |
| 41  | スズメ            | 野鳥       | 31  |
| 198 | セアカツノカメムシ      | 昆虫 その他   | 115 |
| 45  | セグロセキレイ        | 野鳥       | 33  |
| 169 | セマダラコガネ        | 昆虫 その他   | 101 |
| 30  | センダイムシクイ       | 野鳥       | 25  |
| 166 | センチコガネ         | 昆虫 その他   | 99  |
| タ   | 10 ダイサギ        | 野鳥       | 15  |
|     | 129 ダイミョウセセリ   | 昆虫 チョウ・ガ | 79  |
|     | 152 チャドクガ      | 昆虫 チョウ・ガ | 90  |
|     | 143 チャバネフエダシャク | 昆虫 チョウ・ガ | 86  |
|     | 78 チョウトンボ      | 昆虫 トンボ   | 51  |
|     | 35 ツグミ         | 野鳥       | 28  |
|     | 226 ツチガエル      | 両生類・は虫類  | 131 |
|     | 27 ツバメ         | 野鳥       | 24  |
|     | 110 ツバメシジミ     | 昆虫 チョウ・ガ | 69  |



|   | No. | 種名         | カテゴリー      | ページ |
|---|-----|------------|------------|-----|
| タ | 189 | ツマグロオオヨコバイ | ■ 昆虫 その他   | 111 |
|   | 96  | ツマグロキチョウ   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 62  |
|   | 116 | ツマグロヒョウモン  | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 72  |
|   | 220 | ツクムシの仲間    | ■ 昆虫 その他   | 126 |
|   | 202 | トゲアリ       | ■ 昆虫 その他   | 117 |
|   | 213 | トノサマバッタ    | ■ 昆虫 その他   | 123 |
|   | 12  | トビ         | ■ 野鳥       | 16  |
|   | 104 | トラフシジミ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 66  |
|   | 160 | トリバガの仲間    | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 94  |
| ナ | 157 | ナシイラガ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 93  |
|   | 79  | ナツアカネ      | ■ 昆虫 トンボ   | 52  |
|   | 179 | ナナホシテントウ   | ■ 昆虫 その他   | 106 |
|   | 180 | ナミテントウ     | ■ 昆虫 その他   | 106 |
|   | 192 | ニイニイゼミ     | ■ 昆虫 その他   | 112 |
|   | 224 | ニホンアカガエル   | ■ 両生類・は虫類  | 130 |
|   | 223 | ニホンアマガエル   | ■ 両生類・は虫類  | 130 |
|   | 230 | ニホンカナヘビ    | ■ 両生類・は虫類  | 133 |
|   | 59  | ニホンカワトンボ   | ■ 昆虫 トンボ   | 42  |
|   | 229 | ニホントカゲ     | ■ 両生類・は虫類  | 133 |
|   | 42  | ニューナイスズメ   | ■ 野鳥       | 31  |
|   | 164 | ニワハンミョウ    | ■ 昆虫 その他   | 98  |
|   | 184 | ノコギリカミキリ   | ■ 昆虫 その他   | 108 |
|   | 80  | ノシメトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 52  |
|   | 14  | ノスリ        | ■ 野鳥       | 17  |
|   | 37  | ノビタキ       | ■ 野鳥       | 29  |
| ハ | 60  | ハグロトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 42  |
|   | 22  | ハシブトガラス    | ■ 野鳥       | 21  |
|   | 21  | ハシボンガラス    | ■ 野鳥       | 21  |

| No.   | 種名         | カテゴリー      | ページ |
|-------|------------|------------|-----|
| 11    | ハチクマ       | ■ 野鳥       | 16  |
| 92    | ハッチョウトンボ   | ■ 昆虫 トンボ   | 58  |
| 171   | ハナムグリの仲間   | ■ 昆虫 その他   | 102 |
| 215   | ハネナガイナゴ    | ■ 昆虫 その他   | 124 |
| 212   | ハラビロカマキリ   | ■ 昆虫 その他   | 122 |
| 87    | ハラビロトンボ    | ■ 昆虫 トンボ   | 56  |
| 194   | ハルゼミ       | ■ 昆虫 その他   | 113 |
| 24    | ヒガラ        | ■ 野鳥       | 22  |
| 193   | ヒグラシ       | ■ 昆虫 その他   | 113 |
| 121   | ヒメアカタテハ    | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 75  |
| 128   | ヒメウラナミジャノメ | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 78  |
| 167   | ヒメコガネ      | ■ 昆虫 その他   | 100 |
| 127   | ヒメジャノメ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 78  |
| 204   | ヒメスズメバチ    | ■ 昆虫 その他   | 118 |
| 141   | ヒメノコメエダシャク | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 85  |
| 146   | ヒメヤママユ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 87  |
| 28    | ヒヨドリ       | ■ 野鳥       | 24  |
| 210   | ヒロウドツリアブ   | ■ 昆虫 その他   | 121 |
| 46    | ビンズイ       | ■ 野鳥       | 33  |
| 200   | プライアシリアゲ   | ■ 昆虫 その他   | 116 |
| 106   | ベニシジミ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 67  |
| 53    | ホオジロ       | ■ 野鳥       | 37  |
| マ 163 | マガタマハンミョウ  | ■ 昆虫 その他   | 98  |
| 216   | マダラバッター    | ■ 昆虫 その他   | 124 |
| 159   | マダラミズメイガ   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 94  |
| 195   | マツモムシ      | ■ 昆虫 その他   | 114 |
| 50    | マヒワ        | ■ 野鳥       | 35  |
| 34    | マミチャジナイ    | ■ 野鳥       | 27  |

|   | No. | 種名          | カテゴリー      | ページ |
|---|-----|-------------|------------|-----|
| マ | 155 | マメキシタバ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 92  |
|   | 168 | マメコガネ       | ■ 昆虫 その他   | 100 |
|   | 83  | マユタテアカネ     | ■ 昆虫 トンボ   | 54  |
|   | 181 | マルクビツチハンミョウ | ■ 昆虫 その他   | 107 |
|   | 137 | マルモンシロナミシャク | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 83  |
|   | 101 | ミズイロオナガシジミ  | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 65  |
|   | 111 | ミドリヒョウモン    | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 70  |
|   | 186 | ミヤマカミキリ     | ■ 昆虫 その他   | 109 |
|   | 174 | ミヤマクワガタ     | ■ 昆虫 その他   | 103 |
|   | 130 | ミヤマセセリ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 79  |
|   | 55  | ミヤマホオジロ     | ■ 野鳥       | 38  |
|   | 75  | ムカシヤンマ      | ■ 昆虫 トンボ   | 50  |
|   | 149 | ムクツマキシヤチホコ  | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 89  |
|   | 32  | ムクドリ        | ■ 野鳥       | 26  |
|   | 201 | ムネアカオオアリ    | ■ 昆虫 その他   | 117 |
|   | 161 | ムラサキトビゲラ    | ■ 昆虫 その他   | 97  |
|   | 31  | メジロ         | ■ 野鳥       | 26  |
|   | 115 | メスグロヒョウモン   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 72  |
|   | 67  | モートナイトトンボ   | ■ 昆虫 トンボ   | 46  |
|   | 19  | モズ          | ■ 野鳥       | 20  |
|   | 62  | モノサシトンボ     | ■ 昆虫 トンボ   | 43  |
|   | 227 | モリアオガエル     | ■ 両生類・は虫類  | 132 |
|   | 97  | モンキチョウ      | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 63  |
|   | 98  | モンシロチョウ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 63  |
|   | 206 | モンスズメバチ     | ■ 昆虫 その他   | 119 |
| ヤ | 225 | ヤマアカガエル     | ■ 両生類・は虫類  | 131 |
|   | 23  | ヤマガラ        | ■ 野鳥       | 22  |
|   | 126 | ヤマキマダラヒカゲ   | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 77  |



| No.   | 種名        | カテゴリー      | ページ |
|-------|-----------|------------|-----|
| 108   | ヤマトシジミ    | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 68  |
| 199   | ヤマトシリアゲ   | ■ 昆虫 その他   | 116 |
| 178   | ヨツボシオオキスイ | ■ 昆虫 その他   | 105 |
| 91    | ヨツボシトンボ   | ■ 昆虫 トンボ   | 58  |
| 162   | ヨツメトビゲラ   | ■ 昆虫 その他   | 97  |
| 187   | ヨモギハムシ    | ■ 昆虫 その他   | 110 |
| ラ 109 | ルリシジミ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 69  |
| 120   | ルリタテハ     | ■ 昆虫 チョウ・ガ | 74  |
| 208   | ルリチュウレンジ  | ■ 昆虫 その他   | 120 |

## ほかにもこんな野生動物の姿が…



### リス

立ち止まって木を見上げてみよう。木の実を求めてせっせと動く可愛らしい姿<sup>すがた</sup>が見られるかも？

### クマ

めった しゅつぽつ

滅多に出遇しないけど、もしも見かけたら追いかけたり近寄ったりしないでね。静かにその場を離れよう。



## 全 般

- 「ポケット図鑑日本の昆虫 1400 ①チョウ・バタ・セミ」 (2013年)  
株式会社 文一総合出版／槐真史 (編)／伊丹昆虫館 (監修)
- 「ポケット図鑑日本の昆虫 1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ」 (2013年)  
株式会社 文一総合出版／槐真史 (編)／伊丹昆虫館 (監修)
- 「学研の図鑑 LIVE 昆虫」 (2017年)  
株式会社 学研教育出版／岡島秀治 (総監修)
- 「新潟県昆虫図鑑〈上〉」 (1981年)  
新潟日報事業社出版部／本間義治 (監修)
- 「新潟県昆虫図鑑〈下〉」 (1982年)  
新潟日報事業社出版部／本間義治 (監修)

## 野 鳥

- 「ポケット図鑑日本の鳥300」 (2005年)  
株式会社 文一総合出版／叶内拓哉 (著者)
- 「日本動物大百科 3 鳥類編Ⅰ」 (1996年)  
株式会社 平凡社／樋口広芳、山岸哲、森岡弘之 (編集)
- 「日本動物大百科 4 鳥類編Ⅱ」 (1997年)  
株式会社 平凡社／樋口広芳 (編さん)
- 「フィールド図鑑日本の野鳥」 (2017年)  
株式会社 文一総合出版／水谷高英 (イラストレーション)、叶内拓哉 (解説)

## トンボ

- 「ネイチャーガイド日本のトンボ」 (2017年)  
株式会社 文一総合出版／尾園暁、川島逸郎、二橋亮 (著者)

## チョウ・ガ .....

- 「フィールドガイド増補改訂版日本のチョウ」(2019年)  
株式会社 誠文堂新光社／特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会(編者)
- 「小学館の図鑑 NEO イモムシとケムシ」(2018年)  
株式会社 小学館／鈴木知之、横田光邦、筒井学(執筆・写真・幼虫飼育)  
広瀬敏也、矢後勝也(監修)、杉本美華(監修協力)
- 「日本産蛾類標準図鑑Ⅰ」(2011年)  
株式会社 学研教育出版／岸田泰則(編)
- 「日本産蛾類標準図鑑Ⅱ」(2011年)  
株式会社 学研教育出版／岸田泰則(編)
- 「日本産蛾類標準図鑑Ⅲ」(2013年)  
株式会社 学研教育出版／広渡俊哉、那須義次、坂巻祥孝、岸田泰則(編)
- 「日本産蛾類標準図鑑Ⅳ」(2013年)  
株式会社 学研教育出版／那須義次、広渡俊哉、岸田泰則(編)

## 両生類・は虫類 .....

- 「ポケット図鑑日本の爬虫両生類 157」(2009年)  
株式会社 文一総合出版／大谷勉(著者)
- 「山溪ハンディ図鑑 9 日本のカエル」(2015年)  
株式会社 山と溪谷社／松橋利光(写真)、奥山風太郎(解説)
- 「里山フィールドガイドシリーズ 6 里山のカエルとヘビ」(2007年)  
特定非営利活動法人 越の里山倶楽部／井上信夫(執筆)



## し せ つ 施設案内



- アクセス 自動車利用：北陸自動車道中之島見附ICより約30分
- 開園期間 4月～11月（ただし臨時に休園したり、開園期間を変更したりする場合があります）
- 施設運営 見附市建設課 景観緑花係

## 杉沢の森 ハンドブック－動物編－

2021年3月発行

発行元／新潟県長岡地域振興局  
農林振興部 林業振興課  
〒940-8567 新潟県長岡市沖田2丁目173-2  
TEL：0258-38-2573

印刷所／有限会社 めぐみ工房  
〒940-0032 新潟県長岡市干場1-2-17  
TEL：0258-32-7427